ナルヲ感ス
二、農村保護上ヨリ見タル反對　近来農村疲弊ノ一因ハ地方費ノ膨脹ニ在ルヲ以テ速ニ地方ノ負担ヲ減少シテ之カ救治ヲ圖ルヘキナリ義務年限延長ニ因テ生スル經費ハ國庫ノ支辨ニ屬スト雖モ同時ニ地方費モ亦増大スヘキコト明ニシテ農村ノ堪ヘ得ル所ニアラス且今日農村トシテハ寧ロ効果ノ明確ナル農業補修教育ノ充實ヲ歡迎スルヲ以テ若シ國庫ニ於テ全費用ヲ負担シ累ヲ農村ニ及ホサストセハ年限延長ヨリハ補修教育ノ擴張ニ力ヲ用ヒラレンコトヲ希望ス

三、教育制度改革ノ急要ヨリ年限延長ヲ尚早トスルモノ　現時ノ教育制度ハ甚シキ缺陥アルヲ以テ根本的改革ヲ施サヽルヘカラス漫ニ歐米ノ例ヲ見テ年限延長ノ如キ外形的事項ヲ模倣センヨリハ寧ロ教育ノ真髄ニ入リテ彼ノ長所ヲ採用スルニ如カス目下我小學教育ノ缺陥ハ（第一）試験制度ニ因ハレ唯試験ノ準備ノ為ニ汲々トシ往々過度ノ注入ヲ為シ人物ノ作成、徳性ノ涵養ヲ疎外スルノ憾アリ（第二）教員ノ未熟ナルト一時ニ多數ノ生徒ヲ教授スルトニヨリ個性ノ啓發ニ

力ヲ致ス能ハス從テ成業後實用ニ適セス（第三）一般家庭トノ連絡ヲ缺キ学校ハ全ク家庭ノ外ニ隔絶シテ教化ノ能率薄弱ナルヲ免カレス其他幾多改革ヲ要スルモノアリテ從来ノ教育方針ノ下ニ於テハ年限ヲ延長スルモ其ノ効果疑ハシキノミナラス却テ弊害ヲ助長スルモノナシトセス故ニ同シク經費ヲ増大スルナラハ先ツ教育方法ノ革新、師範教育ノ擴充、教員ノ待遇改善等ニ傾注スルヲ喫緊トシ其ノ成果ヲ待テ徐ニ年限ヲ延長スルヲ以テ順序トスヘシ

之カ具體的整理方案ヲ決定スル爲コト左ノ如シ ツル豫算ナリ基金ノ運用利殖

特別會計整理案

本會ハ曩ニ我財政組織整理方案ノ一トシテ特別會計ノ整理ヲ聲明シタルカ更ニ細目ニ亘リ審議ノ末之カ具體案ヲ決定スルコト左ノ如シ

第一 左ノ諸特別會計ハ之ヲ廢止シテ一般會計ニ移シ當該關係各省所管トシテ之ヲ整理スルコト

(一)外務省所管トスルモノ

在外國專管居留地

對支文化事業

(理由)在外國專管居留地ノ會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテノ遠隔地ニアル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ爲ニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

對支文化事業ハ清國團匪事件賠償金ノ收入ヲ基礎トシ之ヲ運用利殖シテ得タル收入ノ幾分ヲ以テ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノニシテ基金運用利殖ハ預金部ニ委託シ一般會計内ニ於テ運用利殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ何等ノ支障ヲ見ス

(二)内務省所管トスルモノ

朝鮮總督府、朝鮮醫院及濟生院、臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳

(理由)以上殖民地會計ハ其性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收支ヲ生スヘキ地カ本土ニ遠隔セルカ爲ニ特別會計ト爲セルニ過キス又朝鮮醫院及濟生院ハ官營事業ノ計算整理上便宜ノ爲メ設ケタルモノナリ故ニ是等ハ總テ一般會計ニ於テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支款項ヲ設ケテ整理計算シ資金部ハ之ヲ廢止スヘシ

(三)大藏省所管トスルモノ

國債整理基金

造幣局作業部

臨時國庫證券收入金

賠償金、国有財産整理基金

（理由）國債整理基金ハ國債ノ元利償還ヲ要スヘキ資金ヲ一般會計並ニ各特別會計ヨリ一旦本會計ノ計算ニ受入レタル後支拂フモノニシテ只借替ハ本會計ノミニ於テ收支計算ヲ行フモノナルカ總テ之ヲ一般會計ニ移シ直接ニ元利償還及借替ヲ行フコトヽスヘシ

造幣局作業部特別會計ハ元來材料素品ノ購入其他固定及運轉資金等ノ計算整理上便宜ノ為メ設ケタルモノナルモ一般會計ニ併合シ造幣局收支ニ對スル款項ヲ設ケテ計算整理スルニ於テ別段ノ故障ヲ見ス

臨時國庫證券收入金ハ為替資金ノ調達其他ノ為メ内債ヲ募集シ支那露國佛國等對外債權ニ投資セルモノニシテ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國等ノ債權ニ對スル收入ハ大正七八年以降杜絶シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至リ猶ホ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補給セサルヘカラサルカ如キ状態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適當トス

賠償金及國有財産整理基金ハ何レモ一般會計ニ屬スヘキモノナルモ賠償金ハ獨逸ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ為メ又國有財産整理基金ハ官有物拂下ニ因テ得タル資金ヲ以テ各省ニ於ケル營繕等ノ特定財源ニ充當スル等ノ為メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ歳入ハ官有物拂下ニ併合シ歳出ハ各省ノ營繕費及賠償金所定ノ支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

（四）農商務省所管トナルモノ

印刷局作業部

千住製絨所

製鐵所

米穀需要調節

專賣局作業部

（理由）以上ノ各會計ハ何レモ造幣局作業部ノ如ク官營事業ノ計算整理ニ屬スルモノニシテ材料購入貯藏製品其他ノ保管販賣等ノ取扱上並ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理等ニ於テ一般會計法規ニヨルヲ不便ナリトスルノ理由ニヨリ

各特別會計ヲ設定シタルモノナリト雖モ既ニ電信電話事業及陸軍糧秣衛生材料大學等ノ官營事業カ一般會計内ニ於テ円滑ニ整理セラルヽノ實例ニ徴スルモ特別會計トシテ存置スルノ必要ヲ認メス一般會計ノ下ニ歳入ハ物品拂下代及雜收入トシ歳出ハ各事業費材料消耗品ノ購入保管トシ運轉資本金ハ大藏省證券ニヨリ固定資本即チ機械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

前記諸會計ヲ農商務省ニ管屬セシメタルハ事業ノ性質相近似ルヲ以テ之ヲ統一セシカ爲メナリ而シテ是等事業中官營トシテ継續スルノ要ナク相當整理ヲ要スルモノアリ之ニ對シテハ別ニ考究スルコトトシ本項ニ於テハ依然政府ノ手ニ在ルモノトシテ其所管ヲ定メタリ

(五) 遞信省所管トスルモノ

簡易生命保險

(理由) 一般會計ニ併合シ當該科目ヲ設ケ收支ヲ計算整理シ其ノ資金ハ預金部ニ於テ運用セシメ郵便貯金ト統一ヲ保タシメントス

(六) 鐵道省所管トスルモノ

帝國鐵道

(理由) 帝國鐵道ハ既往ニ於テハ一般會計ニ屬シタルモ當時鐵道收入激減シ鐵道建設改良事業ノ爲メ一般會計ニ累ヲ及ホスニ至リタルヲ以テ明治四十年度以降鐵道ヲ特別會計トナシ全部獨立自營セシメタリ然レトモ實際之カ爲ニ收支ノ明確ヲ欠キテ當局者專斷ヲ促カシ又一般財政ト連絡調節円滑ナラサル等ノ情弊續出シテ特別會計整理聲ハ帝國鐵道ニ對シ特ニ高唱セラレツヽアリ今後殖民地會計ニ於ケル鐵道收支ノ如ク一般會計ニ於テ歳入ハ鐵道收入歳出ハ建設改良費運輸諸費等ノ科目ヲ以テ整理計算スヘシ

(七) 陸軍省所管トスルモノ

陸軍造兵廠

(理由) 造兵廠ハ舊東京及大阪砲兵工廠ヲ合併シタルモノニシテ從來両工廠ノ豫算カ毎年必ス各一千円ノ歳入超過トナルカ如キ杜撰ナル計算ヲ立テタルハ特別會計ノ下ニ利益ヲ隠匿スルノ痕アリト稱セラルヽ所以ナリ最モ整理ノ必要アルヲ認ム

(八) 海軍省所管トスルモノ

海軍工廠、海軍火薬廠、海軍燃料廠

（理由）陸軍ニ於ケル造兵廠ト同シク一般會計ニ移スコトヲ否ムヘキ理由ヲ見ス

（九）文部省所管トスルモノ

東京、京都、東北、九州、北海道各帝國大學、官立大學、學校及圖書館

（理由）以前ハ一般會計ニ屬シタルモ各學校ハ將来獨立自營セシムルノ方針ニヨリ剰餘金ヲ運用利殖セシムル為ニ特別會計ヲ設ケタリト稱セリ然レトモ實際ハ他ノ事情ニヨリ發生シタルモノニシテ今日ニ於テハ其ノ必要ヲ認メス一般會計ノ下ニ歳入ニ各學校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケテ之ヲ整理スヘシ

第二、左記ノ特別會計ハ全然之ヲ廢止スルコト

（一）公債金

（理由）右ハ新規募集ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ計算整理ノ為ニスル會計ニ過キスシテ所謂通リ抜ケ勘定ナリ現在ニアリテハ一般會計並ニ特別會計ノ收支ト悉ク相交錯重複セルモノナルカ故ニ單ニ取扱上便宜ノ為メ設ケタルモノニシテ本會計ヲ廢止スルモ格別ノ支障ヲ来スコト

ナレハ次ノ二項乃至四項亦何レモ整理ノ為ニスル通リ抜ケ勘定ナルヲ以テ本項ト同一理由ノ下ニ同一ノ處置ヲナスヘシ

（二）大藏省預金利子

（理由）本費ハ預金部ニ関聯スルモノニシテ郵便貯金ニ對シ利子ヲ計算スル場合ニ一般會計ヨリ其前渡ヲ受ケ後日運用收入ヲ以テ其全額ヲ償還ス即チ通リ抜ケ勘定ニ過キス前項同様廢止スルモ可ナリ

（三）陸軍營繕費補充資金

（理由）陸軍ノミニ存スルモノニシテ土地建造物ヨリ生スル收入其他ヲ歳入トシ陸軍ノ經費ノ為メ保存スル會計ナルモ特ニ存置ノ要ヲ見ス

（四）臺灣官設鐵道用品資金

（理由）鐵道材料ヲ收支スル會計ナルモ前同断整理セラルヘキモノナリ

（五）教育基金

（理由）清國償金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金制

削除サレ

度ノ如唯一ノ残存セルモノナルカ日露戦役ノ軍資金トシテ一〇、五四〇、〇〇〇円ヲ一般會計借入金トシテ使用シ残額三千五万餘円ニ對シ年々一万五六千円ノ利子収入アルノミニシテ何等教育ニ関スル施設ナク単ニ名目上ノ會計ニ過キサルヲ以テ宜シク之ヲ廃止シ公債償却ニ充當スヘシ

（六）造幣局資金部、各帝国大学資金部、官立大学資金部、学校及圖書館資金部、朝鮮醫院及済生院資金部

（理由）右資金部ハ各自独立自営ノ為メ設ケタル制度ナルモ是等ハ其ノ必要ナキカ又ハ其ノ實現ヲ期スルコト困難ナルカ故ニ之ヲ廃止シ現在資金ハ總テ公債償却ニ充當スヘク今年ニ寄附ニヨル特別資金ノミヲ預金部ニ預入シ運用利殖セシムルヲ可トス

（七）貨幣整理資金

（理由）造幣局ヲ一般會計ニ併合シ之カ収支科目ヲ設ケテ計算整理スル以上ハ現行ノ如ク材料ノ豫定ノ検定貯蔵並ニ之カ買入資金等ノ為メ資金ヲ保有スルノ必要ヲ見サレハ之ヲ廃止シ現存資金ハ公債償却ニ充當スヘシ

（八）臨時軍事費

（理由）歐洲戦乱ニ関聯セル本邦軍事費用ニシテ戦局終結後数年ヲ経過シタル今日收支ノ不明確ナル會計ヲ存置スルノ不可ナルコトハ世間ノ普ク認ムル所ナリ殊ニ薩哈連ノ撤兵モ早晩實行セラルヘク縦令猶ホ暫時駐兵ストスルモ其ノ残存期間中ハ陸軍省ノ一般會計中ノ相當科目ニ於テ計上スレハ可ナリ

預金部改造案

速ニ預金部ノ改造ヲ實行シ其ノ骨子ヲ大體左ノ如クスルコト

一、預金部ハ大蔵省所屬ノ特別機関トシ郵便貯金、郵便爲替資金、簡易生命保険資金、其ノ他類似ノ資金ヲ統一シテ當部ニ寄託利殖セシムルコト

二、預金部ノ資金運用及其ノ貸出利率ヲ決定スル爲ニ運用委員ヲ置クコト

三、運用委員ノ數ハ十名以内トシ其ノ三分ノ二以上ハ民間ヨリ任命スルコト

日本銀行總裁、日本勸業銀行總裁、日本興業銀行總裁ハ委員ニ加ハルコト但民間ヨリ任命スル委員ハ此以外タルコト

大蔵大臣ヲ以テ運用委員長ニ任スルコト

四、預金部ノ資金運用ハ法律ヲ以テ之ヲ限定ス但シ法律實施ニ際シ之ニ抵觸スル運用中ノ資金ハ或ル時期マテニ之ヲ整理スルコト

五、預金部監理委員ヲ設置スルコト

委員長ニハ會計検査院長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ貴衆両院議員中ヨリ各若干名ヲ任命スルコト

拜啓去九日ノ總會ニ附議致ル預金部改造案及特別會計整理案ノ義前者ハ理事委員ニ日本銀行分ニ特別銀行總裁ヲ加フルノ一項削除ト相成ル外原案通り可決致ルモ後者ニ對シテハ對支文化事業及各種作業特別會計ヲ一般會計ニ統一整理スル事不可ナリトノ意見ヲ生シ作業特別會計ハ官業整理ト合セテ研究スルノ要ヲ生シ候ニ付來ル十六日（火曜日）午後五時ヨリ京橋區南鍋町事務所ニ於テ委員會相開キ右ノ議案ニ付御協議申上度候間御參會相成度尚本件ハ政府ノ財政整理案ト關係上成ルヘク早ク本會ノ意見發表ノ運ニ致度存候間何卒御繰合御出席相成度此段御案内申上候也

大正十三年九月十一日

経済研究會委員 志立鐵次郎

田中鐵三郎様

議案

一、預金部改造案理由書案

一、特別會計中左記諸項ノ整理方案
對支文化事業、造幣局作業部、印刷局作業部、千住製絨所、製鐵所、米穀需要調節部、專賣局作業部、簡易生命保険、陸軍造兵廠、海軍工廠、海軍火藥廠、海軍燃料廠、造幣局
資金部

一、官業整理案

第一　特別會計整理案

本會ハ曩ニ我財政組織改善方案ノ一要項トシテ特別會計ヲ一般會計ニ統一スル(ノ)方針ヲ樹立シ且必要ナキ基金資金ハ之ヲ廢止スヘキコトヲ聲明シタリ其ノ理由ノ大要ハ兩種會計ノ併立重複ノ爲ニ我財政ノ眞情ヲ明白ニスル能ハスシテ歳計ノ混亂ヲ來スノミナラス特別會計ノ豫算總額ハ一般會計ニ比シ遙ニ多大ナルモ國民ノ監視ヨリ脱却シテ容易ニ議會ヲ通過スルカ故ニ豫算(ノ)編成ニ愼重ヲ缺キ且之カ實行ニ方リ特別會計ノ埒内ニ隱レ濫費放肆ヲ招致スル等弊害續出セリ現ニ特別會計ノ數三十有七ニ及ヘルカ如キハ世界類例無キ所ニシテ我財政ノ弱點ヲ暴露スルモノナルヲ以テ速ニ之カ整理ヲ必要トスト云フニ在リ此ノ精神ニ基キ爾來各特別會計ニ就キ審議ヲ爲シ之カ具體的整理方案ヲ決定スルコト左ノ如シ

第一　一般會計ニ移スヘキモノ

一、在外專管居留地

（理由）在外專管居留地ノ會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニ在ル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ爲ニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

二、對支文化事業

（理由）對支文化事業ハ清國團匪賠償金ノ外ニ我國ノ山東ヨリ得ル收入ノ一部卽チ公有財產。鐵道及鑛山ノ補償金ヲ財源トシ之ヲ運用利殖シテ其ノ收入中ヨリ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノナリ最近右財源ノ合計額六千四百餘萬圓ニシテ之ニ因ル歲入ハ三百八十餘萬圓ヲ計上シ其ノ中二百五十萬圓ヲ歲出ニ充ツル豫算ナリ其基金ノ運用利殖

第一 一般會計ニ移スヘキモノ

一、在外事務居留地

（理由）在外事務居留地ノ會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニ在ル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ為ニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

二、對支文化事業

（理由）對支文化事業ハ帝國國庫ノ賠償金ノ外ニ我國ノ山東ヨリ得ル收入ノ一部即チ公有財產、鐵道及鑛山ノ補償金ヲ財源トシ之ヲ運用利殖シテ其ノ收入中ヨリ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノナリ最近右財源ノ合計額六千四百餘萬圓ニシテ之ニ因ル歳入ハ三百八十餘萬圓ヲ計上シ其ノ中二百五十萬圓ヲ歳出ニ充ツル豫算ナリ基金ノ運用利殖ハ之ヲ預金部ニ委託シ其ノ收支ハ特別會計ヲ以テ整理スルモ今後ハ一般會計內ニ於テ運用利殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ整理スヘシ但シ年度末ニ豫算剩餘金アラハ之ヲ一般剩餘金ニ組入レスシテ預金部ノ基金ニ戻入スルコト、シ特ニ法規ヲ以テ此ノ點ヲ明ニスヘシ或ハ云フ他國ニ於テ既ニ賠償金ヲ支那ニ還付セルニ方リ我國カ猶ホ之ヲ留保セルコトハ恐ラクハ支那國民ノ不滿ニ感スル所ナラント然レトモ現情ニ於テハ支那政府ノ手ニ渡スヲ得ス我政府ニ於テ之カ善用ニ務メ且其ノ收支ヲ明白ニシ他ニ流用セサルコトヲ示サハ可ナリ會計上ノ整理ヲ特別ニスルト否トハ自ラ別箇ノ問題ナリ

三、造幣局

四、陸軍造兵廠

五、海軍工廠資金

六、海軍火藥廠

七、海軍燃料廠

八、米穀需給調節

（理由）以上ノ諸會計ハ何レモ作業的特別會計ニ屬スルモノナリシ（海軍工廠資金ハ名ハ資金會計ナルモ實ハ作業會計ニシテ陸軍造兵廠ト同一ナルヲ以テ便宜本項中ニ包含セシメタリ）此等ハ特別會計トシテ存續スルヲ可トストスト主張スルモノアリテ其ノ理由ハ材料購入貯藏製品其ノ他ノ保管販賣等ノ取扱上並ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理上一般會計法規ニヨルヲ不便トスト云フニ在リ然レトモ現ニ電信電話事業及陸軍糧秣衛生材料火藥等ノ官營事業カ一般會計内ニ於テ圓滑ニ整理セラルルノ實例ニ徵スルモ特別會計トシテ存置スルノ要ヲ

見ス一般會計ノ下ニ歳入ハ物品拂下代及雜收入トシ歳出ハ各事業費材料素品ノ購入保管トシ又据置運轉資本金ハ据置運轉資本金ノ下ニ一括シ更ニ各作業部毎ニ定額ヲ定メ尚ホ不足アル場合ハ大藏省證券ニヨリテ調達シ固定資本即チ機械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

以上ノ外作業的特別會計ニ屬スルモノニ帝國鐵道、印刷局、專賣局千住製絨所及製鐵所アリ帝國鐵道ニ關シテハ之ヲ一般會計ニ移スヘキコト後ニ詳說スルカ如シ他ノ四會計ニ至リテモ其ノ移入必スシモ不可能ニアラス寧ロ一般會計ニ統一スルヲ希望スト雖モ此等ハ其ノ製品ヲ民間ニモ供給スル爲ニ官民間ノ計算錯雜シ且回收セラレタル資本ヲ屢次運轉シテ作業ノ活動ヲ促進スルノ必要モアリ若シ一般會計トセハ之カ數倍ニ相當スル收支豫算ヲ要スルカ故ニ財政ノ現情

ニテハ編成上困難ナシトセサルヲ以テ姑ク現狀ヲ維持セシメムトス

但シ政府ノ經營セル作業ノ中ニハ其ノ性質上又ハ採算上寧ロ民業ニ移スヲ以テ有利トスルモノアリ我工業幼稚ナリシ時代ニ在リテハ政府ノ力ニ待ツコト已ヲ得サリシト雖モ今ヤ一般工業ハ長足ノ進歩ヲ遂ケ民間ニ於ケル資本ノ調達亦困難ナラサルヲ以テ出來得ル限リ官業ヲ整理シテ之ヲ民業ニ移スコトハ政府財政トノ關係ヲ絶チ積弊ヲ排除シ得ルノミナラス事業ノ發達上亦有利ナルヲ信ス故ニ今後精密ナル考究ヲ遂ケ着々トシテ整理ノ斷行ニ歩ヲ進ムルノ必要アルヲ認ム

又總テ作業的會計ニ屬スルモノハ一般會計ナルト特別會計ナルトヲ問ハス法規ヲ以テ其ノ資産狀態及收支ニ關スル報告ヲ公表スルコト

ヲ命シ且租税其ノ他民業ノ負擔スヘキ當然ノ支出ハ官業ニモ同樣之ヲ賦課スルコト、シ以テ採算ノ基礎ヲ明ニスヘシ

九、帝國鐵道

（理由）帝國鐵道亦作業的會計ノ一ナルモ特ニ重大ニシテ事業ノ性質他ニ特絶セルヲ以テ各作業ト切離シテ之ヲ揭記シタリ元來帝國鐵道ハ初期ニ於テハ一般會計ニ屬セシカ明治二十四年以降特別會計ノ制度ヲ設ケ益金ハ一般會計ニ繰入レ建設改良費ノ負擔ハ一般會計ヨリ支出シタリ然ルニ鐵道收入激減シ建設改良事業ノ爲メ累ヲ一般會計ニ及ホスニ至リタルヲ以テ明治四十二年度以降一般會計トノ關係ヲ絶チ名實共ニ特別會計トシ全然獨立自營セシメタリ然レトモ實際之カ爲ニ收支ノ明確ヲ缺キテ當局者ノ專斷ヲ促カシ又一般財政トノ連絡

調節圓滑ナラサル等ノ情弊堆積シテ特別會計整理ノ聲ハ帝國鐵道ニ對シ特ニ高唱セラレツヽアリ殊ニ尨大ナル一省ヲ擧ケテ特別會計トスルカ如キハ實ニ他國ニモ見サル異例ニシテ大臣以下官吏俸給ノ如キ悉ク特別會計ノ下ニ支出セラレ他ノ官省ト全ク均衡ヲ失ヘルハ最モ怪トスル所ナリ宜シク斷然整理ヲ加ヘ殖民地會計ニ於ケル鐵道收支ノ如ク一般會計ニ於テ歳入ハ鐵道收入歳出ハ建設改良費運輸諸費等ノ科目ヲ以テ整理計算スルコトヽスヘシ

十、國債整理基金

十一、臨時國庫證券收入金

十二、賠償金

十三、國有財產整理資金

十三、國有財産整理資金
十二、賠償金
十一、臨時國庫證券收入金
十、國債整理基金
等ノ科目ヲ以テ整理計算スルコト、スヘシ
支ノ如ク一般會計ニ於テ歳入ハ鐵道收入、歳出ハ建設改良費運輸諸費
ヲ主トスル所ナリ宜シク國鐵整理ヲ加ヘ殖民地會計ニ於ケル鐵道收
キ悉ク特別會計ノ下ニ支出セラレ他ノ官省ト全ク均衡ヲ失ヘルハ最
スルカ如キハ實ニ他國ニ於テ見サル異例ニシテ大臣以下官吏俸給ノ如
對シ特ニ高唱セラレツヽアリ殊ニ甚大ナル一省ヲ擧ケテ特別會計ト
調圓滑ナラサル等ノ情弊鬱積シテ特別會計整理ノ要ハ帝國鐵道ニ

（理由）以上何レモ所謂資金基金特別會計ノ一部ナルカ國債整理基金トハ國債ノ元利償還ヲ要スヘキ資金ヲ一般會計並ニ特別會計ヨリ一旦本會計ノ計算ニ受入レタル後支拂フモノニシテ唯借替ハ本會計ノミニ於テ收支計算ヲ行フモノナリ是等ハ一般會計ニ移シ直接ニ元利償還及ヒ借替ヲ行フヘシ次ニ臨時國庫證券收入金ハ爲替資金ノ調達其ノ他ノ爲メ内債ヲ募集シ支那露國佛國等對外債權ニ放資セルモノニシテ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國等ノ債權ニ對スル收入ハ大正七、八年以降杜絶シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至リ猶ホ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補給セサルヘカラサルカ如キ狀態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適當トス

賠償金及國有財産整理資金ハ何レモ一般會計ニ屬スヘキモノナルモ賠償金ハ獨逸ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ爲メ又國有財産整理資金ハ官有物ノ拂下ニ因テ得タル資金ヲ以テ各省ニ於ケル營繕等ノ特定財源ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ歳入ハ官有物拂下ニ併合シ歳出ハ各省ノ營繕費及賠償金所定ノ支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

十四、朝鮮總督府

十五、朝鮮醫院及濟生院

十六、臺灣總督府

十七、關東廳

十八、樺太廳

（理由）賠償金及國有財產整理資金ハ何レモ一般會計ニ屬スヘキモノナルモ賠償金ハ鐵道ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ上爲メ又國有財產整理資金ハ官有物ノ拂下ニ因テ得タル資金ヲ以テ各省ニ於ケル營繕等ノ特定需要ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモノトナルニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ歳入ハ官有物拂下ニ併合シ歳出ハ各官ノ營繕費及賠償金所定ノ支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

十四、朝鮮總督府

十五、朝鮮醫院及濟生院

十六、臺灣總督府

十七、關東廳

十八、樺太廳

十九、南洋廳

（理由）以上殖民地會計ハ其ノ性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收入ヲ生スヘキ地カ本土ト遠隔セルカ爲ニ特別會計トセルニ過キス又朝鮮醫院及濟生院モ亦官營事業ノ計算整理上多少便宜ノ爲ニ特別會計トシタルニ過キスシテ是以外重要ナル理由アルニアラス故ニ以上ハ總テ一般會計ニ於テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支款項ヲ設ケテ整理計算スヘシ

二十、東京、京都、東北、九州、北海道各帝國大學

二十一、官立大學

二十二、學校及圖書館

（理由）以前ハ何レモ一般會計ニ屬シタルモ將來獨立自營セシムル方針

十九、南洋廳

（理由）以上植民地會計ハ其ノ性質一般會計ニ準シキモノニシテ單ニ收入ヲ生スヘキ地方本土ト遠隔セルカ爲ニ特別會計トナルニ過キス又癩療養院及濟生院モ亦官營事業ノ計算整理上多少便宜ノ爲ニ特別會計トシタルニ過キスシテ是以外重要ナル理由アルニアラス故ニ以上ハ總テ一般會計ニ於テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支款項ヲ設ケテ整理計算スヘシ

二十、東京、京都、東北、九州、北海道各帝國大學

二十一、官立大學

二十二、學校及圖書館

（理由）以前ハ何レモ一般會計ニ屬シタルモ將來獨立自營セシムル方針

ニヨリ剰餘金ヲ運用利殖セシムル爲ニ特別會計ヲ設ケタリト稱セリ然レトモ實際ハ他ノ特殊ノ事情ニヨリ發生シタルモノニシテ今日ニ於テハ其ノ必要ヲ認メス一般會計ノ下ニ歳入ヲ各學校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

第二　全然廢止スヘキモノ

一、大藏省預金利子

（理由）本項以下數項何レモ資金基金特別會計ニ屬スルモノナルカ本資ハ預金部ニ關聯スルモノニシテ郵便貯金ニ對シ利子ヲ計算シタル場合ニ一般會計ヨリ其ノ前渡ヲ受ケ後日運用收入ヲ以テ其ノ金額ヲ償還スルモノニシテ即チ所謂通リ拔ケ勘定ニ過キス廢止スルモ可ナリ

二、教育基金

（理由）清國償金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金制度ノ內唯一ノ殘存セルモノナルカ日露戰役ノ軍資金トシテ本基金中ヨリ六〇、五四〇、〇〇〇圓ヲ一般會計借入金トシテ使用シ殘額三十五萬餘圓ニ對シ年々一萬五六千圓ノ利子收入アルノミニシテ何等教育ニ關スル施設ナク單ニ名目上ノ一會計ニ過キサルヲ以テ宜シク之ヲ廢止シ公債償却ニ充當スヘシ

三、公債

（理由）右ハ新規募集ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ計算整理ノ爲ニスル會計ニ過キスシテ是亦通リ拔ケ勘定ナリ本會計ヲ廢止シ直接所要會計ニ入ルヽモ格別ノ不便ナカルヘシ

四、臺灣官設鐵道用品資金

（理由）鐵道材料ヲ收支スル會計ナルモ唯便宜ノ爲ニ設ケタル通リ拔ケ
勘定ニシテ特ニ臺灣鐵道ニ限リ之ヲ存置スルノ必要ヲ見ス

五、陸軍營繕費補充資金

（理由）土地建物ヨリ生スル收入其ノ他ヲ歲入トシ陸軍ノ經費ノ爲メ保
存スル會計ナルモ特ニ陸軍ニ限リ存置スヘキ必要ナシ當然廢止スヘ
シ

六、造幣局資金部、朝鮮醫院及濟生院資金部、各帝國大學資金部、官立大
學資金部、學校及圖書館資金部

（理由）以上資金部ハ將來各自獨立自營ノ爲メ設ケタル制度ナルモ是等
ハ或ハ其ノ必要モナク或ハ其ノ實現ヲ期スル事困難ナルモノナルヲ以
テ之ヲ廢止シ現在ノ資金ハ總テ之ヲ公債ノ償却ニ充當スヘシ單ニ寄

附等ニヨル特別資金ニシテ資途ノ限定セラルヽモノハ預金部ニ預入シテ運用利殖シ各關係官衙ニ於テ元本ニ關スル明細書ヲ作成シ其ノ資産ヲ明ニセハ可ナリ

七、臨時軍事費

(理由)歐洲戰亂ニ關聯シタル本邦軍事費用ニシテ戰局終結後數年ヲ經過シタル今日非常ノ場合ニ處スル變則的會計ヲ存置スルノ不可ナルコトハ世間ノ普ク認ムル所ナリ殊ニ薩哈連ノ撤兵モ早晩實行セラルヘク縱令猶ホ暫時駐兵ストスルモ其ノ殘存期間中ハ陸軍省ノ一般會計中ノ相當科目ニ於テ計上スレハ可ナリ

第三特別會計トシテ存續スヘキモノ

一、印刷局

二、專賣局

三、千住製絨所

四、製鐵所

五、海軍火薬廠
六、陸軍造兵廠
七、海軍工廠
八、造幣局

（理由）以上四會計ハ曩ニ作業的會計整理ノ項ニ於テ詳説シタル理由ニヨリ姑ク特別會計トシテ存續スルコト、スヘシ但シ資產狀態及收支計算ヲ公開スルコトヲ條件トスルコト亦既記ノ如シ而シテ官業整理ノ進行ニヨリ全然民業ニ移サル、モノハ當然削除セラルヘク又一部民業ニ移シ規模ヲ縮少シテ存續セラルヘキモノニ對シテハ其ノ結果ヲ待チテ會計上ノ所屬ヲ再審スヘキモノトス

五、簡易生命保險

（理由）簡易生命保險ハ官營ノ保險事業ニシテ是亦一般政務ノ外ニ特立

スルモノナリ而シテ保險金ノ支拂金額ハ年ト共ニ膨脹シ且支拂金額豫定シ難キヲ以テ豫算編成上ニ困難ヲ告クルノ事情アリ故ニ特別會計ノ例ニヨリ收入保險料ヲ以テ保險金ノ支拂ニ充當スルヲ便トスヘシ又本事業ニ對シテハ民間保險ニ於ケル責任準備金ノ如ク適當ノ積立金ヲ設定スルコト固ヨリ必要ニシテ其ノ以外純益ニ相當スヘキ剩餘金竝ニ資金運用ニ因ル收益金ノ如キモ一般剩餘金ニ繰入ルヘキ性質ノモノニアラス是等ノ理由ニヨリ特別會計トシテ存續セシメムトス而シテ事業ニ關スル一切ノ經費モ其ノ財源ヲ以テ支辨セシメ且民營保險業ト同業ノ賦課ヲ負擔セシムルコトモ亦之ニ適用スヘシ要スルニ政府カ保險事業ヲ營ムコトニ因テ得タル成績ノ眞情ヲ明白ニシ及別途ノ計算ヲ要求スルモノニシテ從テ資產狀態及收支計算ヲ

公開スヘキコト亦論ナキ所トス

第一、左ノ諸特別會計ハ之ヲ廢止シ其收支ハ一般會計ニ於テ統括シ關係各省所管トシテ之ヲ整理スヘシ

(一)外務省所管トシテ整理スヘキモノ

一在外國專管居留地

本會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニアル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ爲メニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

一對支文化事業

清國團匪事件賠償金ノ收入ヲ基礎トシ之ヲ運用利殖シテ得タル收入ノ幾分ヲ以テ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノニシテ基金ノ運用利殖ハ預金部ニ於テ利殖セシメ收支ハ一般會計內ニ於テ預金部運用利殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ整理スヘシ

(二)內務省所管トシテ整理スヘキモノ

一朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳、南洋廳等ノ各殖民地特

特別會計ノ整理

第一、左ノ諸特別會計ハ之ヲ廢止シ其收支ハ一般會計ニ於テ當該關係各省所管トシテ之ヲ整理スヘシ

(一)外務省所管トシテ整理スヘキモノ

一 在外國專管居留地

本會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニアル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ爲メニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

一 對支文化事業

清國團匪事件賠償金ノ收入ヲ基礎トシ之ヲ運用利殖シテ得タル收入ノ幾分ヲ以テ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノニシテ基金ノ運用利殖ハ預金部ニ於テ利殖セシメ收支ハ一般會計內ニ於テ預金部運用利殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ整理スヘシ

(二)內務省所管トシテ整理スヘキモノ

一 朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳、南洋廳等ノ各殖民地特

別會計ハ其性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收支ヲ生スヘキ地カ本土ニ遠隔セリト謂フニ過キス故ニ一般會計ニ於テ右收支ノ款項ヲ以テ整理シテ然ルヘキモノナリ而シテ朝鮮醫院及濟生院ハ官營事業ノ計算整理上便宜ノ爲メ設ケタルモノナレハ宜シク一般會計内ニ於テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支ノ款項ヲ設ケテ整理計算シ資金部ヲ廢止ス

(三)大藏省所管トシテ整理スヘキモノ

一國債整理基金

國債ノ元利償還ヲ要スヘキ一般會計併ニ各特別會計ヨリ一旦本會計ヘ受入レ本會計ノ計算ニ於テ仕拂フモノニシテ只借替ハ本會計而已ニ於テ收支計算ヲ行フモノナルカ右ハ直接一般會計ニ於テ借替並ニ元利償還ヲ行フ事トスヘシ

一造幣局

元來材料素品ノ購入貯藏其他固定及運轉資金等ノ計算整理上便宜ノ爲メ設ケタルモノニシテ右ハ大藏省所管トシ一般會計ニ併合シ造幣

局收支ニ對スル款項ヲ設ケテ計算整理スヘシ

一臨時國庫證券收入金

爲替資金ノ調達其他ノ爲メ内債ヲ募集シ支那、露國、佛國等對外債權ニ放資セルモノニシテ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國等ノ債權ニ對スル收入ハ大正七八年以降杜絶シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至ラハ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補給セサルヘカラサルカ如キ狀態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適當トス

一賠償金、國有財產整理資金

右ハ何レモ一般會計トシテ計算整理スヘキモノナルカ賠償金ハ獨逸ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ爲メ又國有財產整理資金ハ官有物ヲ拂下以テ得タル資金ニヨリ各省ノ營繕等ノ特定財源ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス。右二特別會計ハ歳入ハ官有物拂下ニ併合シ歳出ハ各省ノ營繕費及賠償金所定ノ支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

(四) 農商務省所管トシテ整理スヘキモノ

一 印刷局千住製絨所製鐵所米穀需給調節專賣局

右各特別會計ハ造幣局等ノ如ク何レモ官營事業ノ計算整理ニ屬スルモノニシテ材料購入貯藏製品其他ノ保管販賣等ノ取扱上並ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理等ニ於テ一般會計法規ニヨルヲ不便ナリトスルノ理由ニヨリ各特別會計ヲ設定シタルモノナルカ現今一般會計内ニ於ケル電信電話事業及陸軍糧秣、衛生材料、火藥等ノ官營事業ニ於ケルカ如ク歳入ハ物品拂下代及雜收入トシ歳出ハ各事業費材料素品ノ購入保管トシ運轉資本金ハ大藏省證券ニヨリ固定資本金卽機械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

(五) 遞信省所管トシテ整理スヘキモノ

一 簡易生命保險

右ハ之ヲ一般會計ニ併合シ當該科目ヲ設ケ收支ヲ計算整理シ之カ運用ハ預金部ニ於テ運用セシム

(六) 鐵道省所管トシテ整理スヘキモノ

一帝國鐵道

帝國鐵道ハ既往ニ於テハ一般會計トシテ計算整理シタルモノナルカ會テ鐵道收入激減シ鐵道建設改良事業ノ爲メ一般會計ニ累ヲ及ホスニ至リタルヲ以テ明治四十一年度以降鐵道ヲ特別會計トシ全然獨立自營セシメタルモノニシテ今後殖民地會計ニ於ケル鐵道ノ收支ノ如ク一般會計ニ於テ歳入ノ鐵道收入歳出科目ノ建設改良費運輸諸費等ノ歳出科目ヲ以テ整理計算ス

(七)陸軍省所管トシテ整理スヘキモノ

一陸軍造兵廠

(八)海軍省所管トシテ整理スヘキモノ

一海軍工廠海軍火藥廠海軍燃料廠

(九)文部省所管トシテ整理スヘキモノ

一東京、京都、東北、九州、北海道官立ノ各大學校及圖書館

右ハ一般會計トシテ計算整理スヘキモノナルカ各學校ハ將來獨立自營セシムルノ方針ニヨリ一會計年度ニ於ケル剩餘金ハ各會計ノ資金

部會計ニ於テ運用利殖セシムル事トシタルモノニシテ本會計ノ歳入ハ各學校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケテ之ヲ計算整理スヘシ

第三、左ノ特別會計ハ全然之ヲ廢止スヘシ

一公債金

右ハ新規募債ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ會計ニ過キス

一大藏省預金利子

右ハ一般會計ヨリ預金利子ノ前渡ヲ受クル爲メ之レカ計算整理上ノ名目上ノ會計ニ過キス

一陸軍營繕費補充資金

右ハ陸軍而已ニ存スルモノニシテ馬糞其他ヲ歳入トシ陸軍ノ經費ノ爲メ保存スル會計ナリ

一臺灣官設鐵道用品資金鐵道材料ヲ收支スル會計

右各會計ハ何レモ通リ抜ケ勘定ニ過キスシテ單ニ手續上ノ計算整理ニ

右各會計ハ何レモ通リ抜ケ勘定ニ過キスシテ單ニ手續上ノ計算整理ニ

一臺灣官設鐵道用品資金（鐵道材料ヲ收支スル會計）

ノ爲メ保存スル會計ナリ

右ハ陸軍而已ニ存スルモノニシテ[illegible]其他ヲ歳入トシ陸軍ノ經費ノ

一陸軍營繕費補充資金

各目上ノ會計ニ過キス

右ハ一般會計ヨリ預金利子ノ前渡ヲ受クル爲メ之レカ計算整理上ノ

一大藏省預金利子

右ハ新規募債ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ會計ニ過キス

一公債金

第二、左ノ特別會計ハ全然之ヲ廢止スヘシ

ヲ計算整理スヘシ

ハ各學校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校各ノ款項ヲ設ケテ之

部會計ニ於テ運用利殖セシムル事トシタルモノハ本會計ノ歳入

屬スルモノニシテ現在ニアリテハ一般會計並ニ特別會計ノ收支ト悉ク相交錯重複セルモノナルカ故ニ單ニ取扱上便宜ノ爲メ設ケタルモノニシテ本會計ヲ廢止スルモ格別ノ支障ヲ來ス事ナシ

一教育基金

清國償金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金制度ノ内唯一ノ基金トシテ殘存セルモノナルカ日露戰役ノ軍資金トシテ一〇、五四〇、〇〇〇圓ヲ一般會計借入金トシテ使用シ殘額三十五萬餘圓ニ對シ年々一萬五六千圓ノ利子收入アル而已ニシテ何等教育ニ關スル施設ナク單ニ名目上ノ一會計ニ過キサルヲ以テ之ヲ廢止スヘシ

一各帝國大學資金部、學校及圖書館資金部、朝鮮醫院及濟生院資金部

右資金部ハ將來各自獨立自營ノ爲メ設ケタル制度ナルモ之等ハ畢竟一ノ希望ニ過キスシテ各會計ノ僅少ナル剩餘金ヲ以テ其實現ヲ期スルハ到底不可能ナルヘキヲ以テ之ヲ廢シ單ニ寄附ニヨル特定資金而已ハ之ヲ預金部ヘ預入シ運用利殖セシム

一貨幣整理資金

造幣局ヲ一般會計ニ併合シ之レカ收支科目ヲ設ケテ計算整理スルトセハ現行ノ如ク材料ノ品位ノ檢定貯藏並ニ之レカ買入資金等ノ爲メ資金ヲ保有スル必要ナシ

第三、預金部特別會計ハ設置セサル事

預金部ノ收支及運用等ハ到底會計法規ニ準據シテ之ヲ行使スル事ヲ得ス殊ニ一定ノ收支ヲ豫算シテ議會ノ協贊ヲ得ルカ如キハ實行上支障尠ラサルヲ以テ之カ新設ハ見合スヘシ

單ニ資金運用方法トシテ現行ノ制度ヲ認メ此ノ制度組織ヲ改善シテ資金運用上一部政商等ニ利用セラレ或ハ時ノ内閣ニ惡用セラル丶等ノ弊害ヲナカラシムヘシ

第四、臨時軍事費特別會計ハ之ヲ存置スヘシ

本特別會計ハ軍費ノ收支計算整理ノ爲メ機宜ノ便法トシテ設ケタルモノニシテ既往ニ於テモ日清日露ノ戰役ノ際之レカ制定ヲ見タルモノナルカ軍費ノ收支計算及整理ハ一般政費ノ如ク年度ヲ區分スル事能ハサル而已ナラス之レカ收支ニ關シテハ軍機ニ關聯シ機宜ノ處置ヲ要スル

事多ク到底一般會計法規ニ準據スル事ヲ得サルヲ以テ當分存置セサル可カラス

（甲）財政組織ノ整理ニ屬スルモノ

一、豫算ノ編成ニ方リ歳出ヲ過大ニ歳入ヲ過少ニ見積リテ多額ノ剩餘金ヲ案出スルノ弊ヲ改メ歳出入共嚴重ニ考査シ實額ニ近キモノヲ計上シテ豫算ノ本質ニ立復ヘルコト

二、繼續的事業ノ支出ハ年度毎ニ豫算案ニ組入ルヘク後年度ニ亘ル事業繼續案ヲ議會ニ提出シテ之カ財源ノ協賛ヲ求ムルノ弊風ヲ矯正スルコト

三、責任支出ノ弊ヲ禁制スルコト

四、國庫剩餘金ハ總テ公債償却ニ充當スルコト

五、行政各部ノ豫算剩餘ヲ國庫ニ返戻スヘキ法規ヲ勵行スルコト

六、行政各部ノ經費款項目ヲ統一スルコト

七、特別會計ハ一般會計ニ統一スルノ方針ヲ樹立シ基金資金ノ如キハ之ヲ整理シ其性質上存置ノ必要ナキモノハ公債償却其他國民負擔輕減ニ資スルコト

八、現在預金部ノ管理ニ屬スル資金及官營保險ニ屬スル資金等ヲ總括シ

之ヲ處理セシムルニ特別ノ機關ヲ設置スルコト

九、各省及主要官廳ニ大藏大臣直屬ノ會計監督官ヲ常置シ其官廳ノ經費ヲ監督セシムルコト

（乙）政府事業ノ緊縮又ハ整理ノタメニ差當リ實行スヘキモノ

一、公債支辨事業ハ當分打切ルコト

二、鐵道新設工事ハ當分見合ハスコト

三、電話ノ私設經營ヲ許スコト

四、塩專賣制度ヲ廢止スルコト

預金部改造案

速ニ預金部改造ヲ斷行シ其骨子ハ大體左

一、預金部ハ全然各省ヨリ獨立シタル特別機關トシ郵

便簡易生命保險積立金其他ノ資金ヲ統一シテ之ヲ[illegible]

二、預金部資金運用及其償還[illegible]利率ヲ定ムル爲ニ運用

三、以上ハ凡テ河ヨリ從命スルコト

三、預金部資金運用ハ法律ヲ以テ之ヲ限定ス但シ法律會

中途資金ハ其時期ニ於テ整理スルコト

四、預金部監理局ヲ大藏省内ニ設置スルコト

五、預金部ハ貸借對照表財產目錄ヲ公表シ毎年一回決算ヲ爲シ收支損益

計算ヲ公表スルコト

六、預金部ノ利益ハ總テ之ヲ積立テ又ハ後期ニ繰越スコト

中外 大正十三年八月二十七日（水曜日）

貯蓄銀行設置

法學博士 小林丑三郎氏談

預金部改造案

速ニ預金部改造ヲ實行シ其ノ骨子ヲ大體左ノ如クスルコト

一、預金部ハ全然各省ヨリ獨立シタル特別機關トシ郵便貯金、郵便爲替貯金、簡易生命保險資金其他ノ資金基金ヲ統一シテ當部ニ寄託利殖セシムルコト

二、預金部ノ資金運用及其貸出利率ヲ定ムル爲ニ運用委員ヲ置クコト、委員ノ三分ノ二以上ハ民間ヨリ任命スルコト

三、預金部資金運用ハ法律ヲ以テ之ヲ限定ス但シ法律實施ニ際シ之ニ抵觸スル運用中ノ資金ハ或時期ニ於テ整理スルコト

四、預金部監理官ヲ大藏省内ニ設置スルコト

五、預金部ハ貸借對照表財産目録ヲ公表シ且一年一回決算ヲ爲シ收支損益計算ヲ公表スルコト

六、預金部ノ利益ハ總テ之ヲ積立テ又ハ後期ニ繰越スコト

[illegible]ニ此迄ヨリナトスル[illegible]、[illegible]用ニ[illegible]割合ニ[illegible]
[illegible]日組ノ[illegible]

官民合半数[illegible]
官民共議ノ程度迄一定ノ[illegible]ルモノヲ
官ハ大蔵、内務、[illegible]
民ハ[illegible]
[illegible]

或時期迄ニ整理スル

預金部改造案

速ニ預金部改造ヲ實行シ其ノ骨子ヲ大體左ノ如クスルコト

一、預金部ハ全然各省ヨリ獨立シタル特別機關トシ郵便貯金、郵便爲替貯金、簡易生命保険資金其他ノ資金基金ヲ統一シテ當部ニ寄託利殖セシムルコト

二、預金部ノ資金運用及其ノ貸出利率ヲ定ムル爲ニ運用委員ヲ置クコト、委員ノ三分ノ二以上ハ民間ヨリ任命スルコト

三、預金部資金運用ハ法律ヲ以テ之ヲ限定ス但シ法律實施ニ際シ之ニ抵觸スル運用中ノ資金ハ或時期ニ於テ整理スルコト

四、預金部監理官ヲ大藏省内ニ設置スルコト

五、預金部ハ貸借對照表財産目録ヲ公表シ且一年毎決算ノ爲シ收支損益計算ヲ公表スルコト

六、預金部利益ハ總テ之ヲ積立テ又ハ後期ニ繰越スコト

官民各半數
官民共議程
官ハ大藏、内務、
民ハ

或時期迄ニ

第一萬四千二百六十四號

東株清算取引(後場)(二十六日)

第一部

「いいえ、あの、まだ何とも御返事……」

お末さん。僕ゐるつてさ……訊いたが、女中のお末は變に笑つて、

官業整理方案

政府ノ經營スル製造事業ニシテ軍事上ノ機密其他特ニ官営トスヘキ必要ナキモノハ之ヲ整理スルノ方針ヲ以テ左ノ如ク實行スルコト

一、官民合同ノ會社ヲ新設シ之ニ拂下ノヘキモノ

製鐵所

印刷局

二、民間ノ有力者ニ拂下ノヘキモノ

千住製絨所

[illegible]

計算ヲ公表スルコト

[illegible]

官業整理方案

政府ノ經營スル製産事業ニシテ軍事上ノ機密其他特ニ官營トスヘキ必要ナキモノハ之ヲ整理スルノ方針ヲ以テ左ノ如ク實行スルコト

一、官民合同ノ會社ヲ新設シ之ニ拂下ク（キモノ

製鐵所

印刷局

二、民間ノ有力者ニ拂下ク（キモノ

千住製絨所

印紙、切手、紙幣、債券等ノ印刷ニ必要ナル設備ヲ要スルコトトナリ官營ト全ク區別シ難キモノナルヘシ
支障ナキハ目的ノ自ら印刷ノ

六、預金部ハ當分ノ間[illegible]整理スルコト
[illegible]スルコト
五、預金部ノ資金ハ[illegible]
四、預金部ノ資金運用[illegible]大藏省中ニ設置スルコト
中ノ資金ハ安全[illegible]スルコト
三、預金部ノ資金運用ニ付テハ[illegible]
[illegible]スルコト
二、預金部ノ資金運用ハ[illegible]
[illegible]
一、預金部ハ[illegible]
[illegible]
預金部改[illegible]案

特別會計整理案

本會ハ曩ニ我財政組織整理方案ノ一トシテ特別會計ノ整理ヲ聲明シタルカ更ニ細目ニ亘リ審議ノ末之カ具體案ヲ決定スルコト左ノ如シ

第一、左ノ諸特別會計ハ之ヲ廢止シテ一般會計ニ移シ當該關係各省所管トシテ之ヲ整理スルコト

(一)外務省所管トスルモノ

在外國專管居留地

對支文化事業

(理由)在外國專管居留地ノ會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニアル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ爲ニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ

對支文化事業ハ清國團匪事件賠償金ノ收入ヲ基礎トシ之ヲ運用利殖シテ得ル收入ノ幾分ヲ以テ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノニシテ基金

ノ運用利殖ハ預金部ニ委託シ一般會計内ニ於テ運用利殖金ヲ收入ト 一
シ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ何等ノ支障ヲ見ス

（二）内務省所管トスルモノ

朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳及南洋廳

（理由）以上殖民地會計ハ其ノ性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收支ヲ生スヘキ地カ本土ニ遠隔セルカ為ニ特別會計ト為セルニ過キス又朝鮮醫院及濟生院ハ官營事業ノ計算整理上便宜ノ為ナ設ケタルモノナリ故ニ是等ハ總テ一般會計ニ於テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支款項ヲ設ケテ整理計算シ資金部ハ之ヲ廢止スヘシ

（三）大藏省所管トスルモノ

國債整理基金

造幣局

臨時國庫證券收入金

賠償金、國有財産整理基金

（理由）國債整理基金トハ國債ノ元利償還ヲ要スヘキ資金ヲ一般會計並ニ各特別會計ヨリ一旦受入レ本會計ノ計算ニ於テ支拂フモノニシテ只借替ハ本會計ノミニ於テ收支計算ヲ行フモノナルカ總テ之ヲ一般會計ニ移シ直接ニ元利償還及ヒ借替ヲ行フコトヽスヘシ

造幣局特別會計ハ元來材料物品購入其他固定及運轉資金等ノ計算整理上便宜ノ為メ設ケタルモノナルモ一般會計ニ併合シ造幣局收支ニ對スル款項ヲ設ケテ計算整理スルニ於テ別段ノ故障ヲ見ス

臨時國庫證券收入金ハ為替資金ノ調達其他ノ為メ内債ヲ募集シ支那露國佛國等對外債權ニ放資セルモノニシテ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國等ノ債權ニ對スル收入ハ大正七八年以降杜絶シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至リ猶ホ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補給セサルヘカラサルカ如キ状態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適當トス

樺太初

ノ運用利殖ハ預金部ニ委託シ一般會計内ニ於テ運用利殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ何等ノ支障ヲ見ス

（二）内務省所管トスルモノ

朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳及南洋廳

（理由）以上殖民地會計ハ其ノ性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收支ヲ生スヘキ地カ本土ニ遠隔セルカ為ニ特別會計ト為セルニ過キス又朝鮮醫院及濟生院ハ官営事業ノ計算整理上便宜ノ為ニ設ケタルモノナリ故ニ是等ハ總テ一般會計ニ於テ經常臨時ノ両部門ニ適當ノ收支款項ヲ設ケテ整理計算シ資金部ハ之ヲ廢止スヘシ

（三）大藏省所管トスルモノ

國債整理基金

造幣局

臨時國庫證券收入金

賠償金、國有財産整理基金

（理由）國債整理基金ハ國債ノ元利償還ヲ要スヘキ資金ヲ一般會計並ニ各特別會計ヨリ一旦受入レ本會計ノ計算ニ於テ支拂フモノニシテ只借替ハ本會計ノミニ於テ收支計算ヲ行フモノナルカ總テ之ヲ一般會計ニ移シ直接ニ元利償還及ヒ借替ヲ行フコトヽスヘシ

造幣局特別會計ハ元來材料需品購入其他固定及運轉資金等ノ計算整理上便宜ノ為メ設ケタルモノナルモ一般會計ニ併合シ造幣局收支ニ對スル款項ヲ設ケテ計算整理スルニ於テ別段ノ故障ヲ見ス

臨時國庫證券收入金ハ為替資金ノ調達其他ノ為メ内債ヲ募集シ支那露國佛國等對外債權ニ放資セルモノニシテ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國等ノ債權ニ對スル收入ハ大正七八年以降杜絶シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至リ猶ホ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補給セサルヘカラサルカ如キ状態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適當トス

賠償金及國有財産整理資金ハ何レモ一般會計ニ屬スヘキモノナルモ賠償金ハ獨逸ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ為メ又國有財産整理資金ハ官有物拂下ニ因テ得タル資金ヲ以テ各省ニ於ケル營繕等ノ特定財源ニ充當スル等ノ為メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ歳入ハ官有物拂下ニ併合シ歳出ハ各省ノ營繕費及賠償金所定支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

(四) 農商務省所管トスルモノ

印刷局

千住製絨所

製鐵所

米穀需要調節

專賣局

(理由) 以上ノ各會計ハ何レモ造幣局ノ如ク官營事業ノ計算整理ニ屬スルモノニシテ材料購入貯藏製品其他ノ保管販賣等ノ取扱上並ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理等ニ於テ一般會計法規ニ依テハ不便ナリトスルノ理由ニヨリ各特別會計ヲ設定シタルモノナリト雖モ既ニ電信電話事業及陸軍糧秣衛生材料、火藥等ノ官營事業カ一般會計内ニ於テ円滑ニ整理セラルヽノ實例ニ徵スルモ特別會計トシテ存置スルノ必要ヲ認メス一般會計ノ下ニ歳入ハ物品拂下代及雜收入トシ歳出ハ各事業費材料素品ノ購入保管トシ運轉資本金ハ大藏省證券ニヨリ固定資本金即チ機械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

前記諸會計ヲ農商務省ニ管屬セシメタルハ事業ノ性質相近似セルヲ以テ之ヲ統一セシカ為ナリ而シテ是等事業中官營トシテ繼續スルノ要ナク相當整理ヲ要スルモノアリ之ニ對シテハ別ニ考究スルコトヽシ本項ニ於テハ依然政府ノ手ニ在ルモノトシテ其所管ヲ定メタリ

本会計ハ收税ノ目的ナルカ故大藏省ニ[illegible]如何

(五) 遞信省所管トスルモノ

簡易生命保險

賠償金及國有財産整理資金ハ何レモ一般會計ニ屬スヘキモノナルモ賠償金ハ猶逸ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ爲メ又國有財産整理資金ハ官有物拂下ニ因テ得タル資金ヲ以テ各省ニ於ケル營繕等ノ特定財源ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ歳入ハ官有物拂下ニ併合シ歳出ハ各省ノ營繕費及賠償金所定支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

（四）農商務省所管トスルモノ

印刷局

千住製絨所

製鐵所

米穀需要調節

專賣局

（理由）以上ノ各會計ハ何レモ造幣局ノ如ク官營事業ノ計算整理ニ屬スルモノニシテ材料購入貯藏製品其他ノ保管販賣等ノ取扱上並ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理等ニ於テ一般會計法規ニ依テ不便ナリトスルノ理由ニヨリ各特別會計ヲ設定シタルモノナリト雖モ既ニ電信電話事業及陸軍糧秣衛生材料、火藥等ノ官營事業カ一般會計内ニ於テ円滑ニ整理セラルヽノ實例ニ徴スルモ特別會計トシテ存置スルノ必要ヲ認メス一般會計ノ下ニ歳入ハ物品拂下代及雜收入トシ歳出ハ各事業費材料素品ノ購入保管トシ運轉資本金ハ大藏省證券ニヨリ固定資本金即チ機械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

前記諸會計ヲ農商務省ニ管屬セシメタルハ事業ノ性質相近似セルヲ以テ之ヲ統一センカ爲ナリ而シテ是等事業中官營トシテ継續スルノ要ナク相當整理ヲ要スルモノアリ之ニ對シテハ別ニ考究スルコトヽシ本項ニ於テハ依然政府ノ手ニ在ルモノトシテ其所管ヲ定メタリ

（五）遞信省所管トスルモノ

簡易生命保險

（理由）一般會計ニ併合シ當該科目ヲ設ケ收支ヲ計算整理シ其ノ資金ハ預金部ニ於テ運用セシメ郵便貯金ト統一ヲ保タシメムトス

（六）鐵道省所管トスルモノ

帝國鐵道

（理由）帝國鐵道ハ既往ニ於テハ一般會計ニ屬シタルモ當時鐵道收入激減シ鐵道建設改良事業ノ為メ一般會計ニ累ヲ及ホスニ至リタルヲ以テ明治四十年度以降鐵道ヲ特別會計トシ全然獨立自營セシメタリ然レトモ實際之カ為ニ收支ノ明確ヲ缺キテ當局者ノ專斷ヲ促カシ又一般財政ト連絡調節円滑ナラサル等ノ情弊續出シテ特別會計整理ノ聲ハ帝國鐵道ニ對シ特ニ高唱セラレツヽアリ今後殖民地會計ニ於ケル鐵道收支ノ如ク一般會計ニ於テ歳入ハ鐵道收入、歳出ハ建設改良費運輸諸費等ノ科目ヲ以テ整理計算スヘシ

（七）陸軍省所管トスルモノ

陸軍造兵廠

（理由）造兵廠トハ舊東京及大阪ノ砲兵工廠ヲ合併シタルモノニシテ從來兩工廠ノ豫算カ每年必ス各壹千円ノ歳入超過トナルカ如キ杜漏ナル計算ヲ立テタルハ特別會計ノ下ニ利益ヲ隱匿スルノ痕アリト稱セラル、所以ナリ最モ整理ノ必要アルヲ認ム

（八）海軍省所管トスルモノ

海軍工廠、海軍火藥廠、海軍燃料廠

（理由）陸軍ニ於ケル造兵廠ト同シク一般會計ニ移スコトヲ否ムヘキ理由ヲ見ス

（九）文部省所管トスルモノ

東京、京都、東北、九州、北海道ニ於ケル官立ノ各大學及圖書館

（理由）以前ハ一般會計ニ屬シタルモ各學校ハ將來獨立自營セシムルノ方針ニヨリ剰餘金ヲ運用利殖セシムル為メ特別會計ヲ設ケタリト稱セリ然レトモ實際ハ他ノ事情ニヨリ發生シタルモノニシテ今日ニ於テハ其必要ヲ認メス一般會計

ノ下ニ歳入ヲ各学校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケテ之ヲ整理スヘシ

第二、左記ノ特別會計ハ全然之ヲ廢止スルコト

（一）公債金

（理由）右ハ新規募集ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ計算整理ノ為ニスル會計ニ過キスシテ所謂通リ抜ケ勘定ナリ現在ニアリテハ一般會計並ニ特別會計ノ收支ト悉ク相交錯重複セルモノナルカ故ニ單ニ取扱上便宜ノ為メ設ケタルモノニシテ本會計カ廢止スルモ格別ノ支障ヲ来スコトナシ次ノ二項乃至四項亦何モ整理ノ為ニスル通リ抜ケ勘定ナルヲ以テ本項ト同一理由ノ下ニ同一ノ處置ヲ為スヘシ

（二）大藏省預金利子

（理由）本貴ハ預金部ニ關聯スルモノニシテ郵便貯金ニ對シ利子ヲ計算スル場合ニ一般會計ヨリ其ノ前渡ヲ受ケ後日運用收入ヲ以テ其ノ全額ヲ償還ス即チ通リ抜ケ勘定ニ過キス後節ニ記スルカ如ク預金部ヲ獨立セシメ收支科目ヲ設ケ整

理スル以上ハ本項ハ當然廢止スルヲ得ヘシ

（三）陸軍營繕費補充資金

（理由）陸軍ノミニ存スルモノニシテ土地建造物ヨリ生スル收入其他ヲ歳入トシ陸軍ノ經費ノ為メ保存スル會計ナルモ特ニ存置ノ要ヲ見ス

（四）臺灣官設鐵道用品資金

（理由）鐵道材料ヲ收支スル會計ナルモ前同断整理セラルヘキモノナリ

（五）教育基金

（理由）清國償金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金制度ノ内唯一ノ基金トシテ残存セルモノナルク日露戰役ノ軍資金トシテ（〇、五四〇、〇〇〇円ヲ一般會計借入金トシテ使用シ）残額三千五万餘円ニ對シ年々二万五六千円ノ利子收入アルノミニシテ何等教育ニ關スル施設ナク單ニ名目上ノ（會計ニ過キサルヲ以テ宜シク之ヲ廢止スヘシ

（六）各帝國大学資金部、學校及圖書館資金部、朝鮮醫院及濟

ノ下ニ歳入ヲ各学校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケ
テ之ヲ整理スヘシ

第二、左記ノ特別會計ハ全然之ヲ廢止スルコト

（一）公債金

（理由）右ハ新規募集ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ計算整理ノ爲ニスル會計ニ過キスシテ所謂通リ抜ケ勘定ナリ現在ニアリテハ一般會計並ニ特別會計ノ收支ト悉ク相交錯重複セルモノナルカ故ニ單ニ取扱上便宜ノ爲メ設ケタルモノニシテ本會計カ廢止スルモ格別ノ支障ヲ来スコトナシ次ノ二項乃至四項亦何モ整理ノ爲ニスル通リ抜ケ勘定ナルヲ以テ本項ト同一理由ノ下ニ同一ノ處置ヲ爲スヘシ

（二）大藏省預金利子

（理由）本費ハ預金部ニ關聯スルモノニシテ郵便貯金ニ對シ利子ヲ計算セントスル場合ニ一般會計ヨリ其ノ前渡ヲ受ケ後日運用收入ヲ以テ其ノ全額ヲ償還ス即チ通リ抜ケ勘定ニ過キス後節ニ記スルカ如ク預金部ヲ獨立セシメ收支科目ヲ設ケ整

理スル以上ハ本項ハ當然廢止スルヲ得ヘシ

（三）陸軍營繕費補充資金

（理由）陸軍ノミニ存スルモノニシテ土地建造物ヨリ生スル收入其ノ他ヲ歳入トシ陸軍ノ經費ノ爲メ保存スル會計ナルモ特ニ存置ノ要ヲ見ス

（四）臺灣官設鐵道用品資金

（理由）鐵道材料ヲ收支スル會計ナルモ前同断整理セラルヘキモノナリ

（五）教育基金

（理由）清國償金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金制度ノ内唯一ノ基金トシテ殘存セルモノナルカ日露戰役ノ軍資金トシテ一〇、五四〇、〇〇〇円ヲ一般會計借入金トシテ使用シ殘額三十五万餘円ニ對シ年々一万五六千円ノ利子收入アルノミニシテ何等教育ニ關スル施設ナク單ニ名目上ノ會計ニ過キサルヲ以テ宜シク之ヲ廢止スヘシ

（六）各帝國大學資金部、學校及圖書館資金部、朝鮮醫院及濟

金ノ字脱

生院資金部

（理由）右資金部ハ将来各自獨立自營ノ為メ設ケタル制度ナルモ是等ハ一ノ希望ニ過キスシテ各會計僅少ナル剰餘金ヲ以テ其ノ實現ヲ期スルカ如キハ到底不可能ナルヘシ故ニ之ヲ廢止シ單ニ寄附ニヨル特別資金ノミヲ預金部ニ預入レ運用利殖セシムルヲ可トス

（七）貨幣整理資金

（理由）造幣局ヲ一般會計ニ併合シ之カ收支科目ヲ設ケテ計算整理スル以上ハ現行ノ如ク材料ノ品位検定貯蔵並ニ之カ買入資金等ノ為メ資金ヲ保有スルノ必要ヲ見ス

（八）臨時軍事費

（理由）歐洲戰亂ニ關聯シタル本邦軍事費用ニシテ戰局終結後數年ヲ經過シタル今日收支ノ不明確ナル會計ヲ存置スルノ必要ナキコトハ世間ノ普ク認ムル所ナリ殊ニ薩哈連ノ撤兵モ早晩實行セラルヘク縦令猶ホ暫時駐兵ストスルモ其ノ残存期間中ハ陸軍省ノ一般會計中ノ相當科目ニ於テ計上スレハ可ナリ

第三、特別會計トシテ設置スルモノ左ノ如シ

預金部但シ組織ヲ改造シ獨立シタル一局部トシ收支科目ヲ設クルコト

預金部ノ改造ニ關シテハ別ニ之ヲ提案ス

（理由）多數ノ特別會計ヲ整理シ或ハ之ヲ一般會計ニ移シ或ハ之ヲ全廢セントスルニ當リ獨リ大蔵省預金利子ノ廢止ニ代ヘテ預金部特別會計ヲ新設セントスルハ他ナシ預金部ノ資金ハ全ク他ト性質ヲ異ニシ民衆勤倹ノ結晶タル郵便貯金ヲ以テ其ノ主要ナルモノトスルカ故ニ其ノ收支ヲ明確ニシ其ノ運用ヲ堅實ニシ且公衆ノ便益ニ享スルノ要アリ預金部改造ハ本會曩ニ之ヲ唱道シ現政府モ亦其ノ意アルカ如シ改造ノ程度ニハ異同アルヘキモ前記ノ根本的精神ニ背戻スル現情ヲ矯正スル為ニハ其制度組織ヲ革正シ獨立シタル一部課トシテ他ノ會計ニ超越シ宛然政府ノ管理スル一種ノ銀行ノ如クシ其收支損益並ニ財産状態ヲ明白ニシ以テ民衆ノ安心ヲ買ハサルヘカラス是レ唯一ノ特別會計トシテ新設セントスル所以ニシテ運用ニ因ル利息ヲ收入科目トシ支拂預金利息各資金ヘ交付スヘキ運用利益及事務費ヲ支出科目トシテ計算整理セントス若シ夫レ預金部改造ニ關シテハ別ニ成案ヲ具シテ世ニ問ハントス

（終）

生院資金部

（理由）右資金部ハ將来各自獨立自營ノ爲メ設ケタル制度ナルモ是等ハ一ノ希望ニ過キスシテ各會計ノ僅少ナル剰餘金ヲ以テ其ノ實現ヲ期スルカ如キハ到底不可能ナルヘシ故ニ之ヲ廢止シ單ニ寄附ニ依ル特別資金ノミヲ預金部ニ預入シ運用利殖セシムルヲ可トス

（七）貨幣整理資金

（理由）造幣局ヲ一般會計ニ併合シ之カ收支科目ヲ設ケテ計算整理スル以上ハ現行ノ如ク材料品位ノ検定貯蔵並ニ買入資金等ノ爲メ資金ヲ保有スルノ必要ヲ見ス

（八）臨時軍事費

（理由）歐洲戰亂ニ關聯シタル本邦軍事費用ニシテ戰局終結後數年ヲ經過シタル今日收支ノ不明確ナル會計ヲ存置スルノ必要ナキコトハ世間ノ普ク認ムル所ナリ殊ニ薩哈連ノ撤兵モ早晩實行セラルヘク縦令猶ホ暫時駐兵ストスルモ其ノ殘存期間中ハ陸軍省ノ一般會計中ノ相當科目ニ於テ計上スレハ可ナリ

第三、特別會計トシテ設置スルモノ左ノ如シ

預金部但シ組織ヲ改造シ獨立シタル一局部トシ收支科目ヲ設クルコト

預金部ノ改造ニ關シテハ別ニ之ヲ提案ス

（理由）　多數ノ特別會計ヲ整理シ或ハ之ヲ一般會計ニ移シ或ハ之ヲ全廢セントスルニ當リ獨リ大藏省預金利子ノ廢止ニ代ヘテ預金部特別會計ヲ新設セントスルハ他ナシ預金部ノ資金ハ全ク他ト性質ヲ異ニシ民衆勤倹ノ結晶タル郵便貯金ヲ以テ其ノ主要ナルモノトスルカ故ニ其ノ收支ヲ明確ニシ其ノ運用ヲ堅實ニシ且ツ公衆ノ便益ニ資スルノ要アリ預金部ノ改造ハ本會ガ曩ニ之ヲ唱道シ現政府モ亦其ノ意アルカ如シ改造ノ程度ニハ異同アルヘキモ前記ノ根本的精神ニ背戻スル現情ヲ矯正スル爲メニハ其ノ制度組織ヲ革正シ獨立シタル一部課トシテ他會計ニ超越シ宛然政府ノ管理スル一種ノ銀行ノ如クシ其ノ收支損益並ニ財産状態ヲ明白ニシ以テ民衆ヲ安心セシメサルヘカラス是レ唯一ノ特別會計トシテ新設セントスル所以ニシテ運用ニ因ル利息ヲ收入科目トシ支拂預金利息各資金ヘ交付スヘキ運用利益及事務費ヲ支出科目トシテ計算整理セントス若シ夫レ預金部改造ニ關シテハ別ニ成案ヲ具シテ世ニ問ハントス

（終）

造幣局資金部

預金部改造案

本會ハ第二回報告ニ於テ財政組織及政府事業整理方案ヲ提起シ其ノ中ノ一要項トシテ預金部ニ屬スル資金及官營保險ノ資金等ヲ總括シ之ヲ處理スル為ニ特別ノ機關ヲ設クヘキコトヲ唱導シタルカ預金部改造ハ一日モ速ニ實行スルノ必要ヲ認メ之カ具體案ニ關シ講究ヲ進メ其ノ大綱トシテ左ノ如ク決議ス

一、預金部ハ大藏省所屬ノ特別機關トシ郵便貯金、郵便為替貯金及簡易生命保險資金、其他類似ノ政府受託金ヲ統一シテ當部ニ保管利殖セシムルコト

二、預金部ニ屬スル資金ノ運用方法及運用利率ヲ決定スル為ニ運用委員ヲ置クコト

運用委員ノ數ハ十名以内トシ其ノ三分ノ二以上ヲ民間ヨリ任命シ大藏大臣ヲ運用委員長トスルコト

三、預金部ニ關スル特別法律ヲ新制シ確實ニシテ且公益ヲ目的トスル資金運用上ノ限定、貸借對照表、損益計算書及運用資金内容明細書ノ定時公表並ニ事務整理ニ關スル事項等ヲ規定スルコト

本法律ノ實施ニ際シ之ニ抵觸スル運用中ノ資金ハ或時期マテニ之ヲ整理スルコト

（理由）預金部改造ノ急務ハ世間識者ノ高唱スル所ナルノミナラス今ヤ政府當局ニ於テモ之カ必要ヲ知覺シ審議中ニ屬スト聞ケリ本會講究ノ結果ト對比シテ幾何ノ合致ヲ見ルヘキカヲ知ラスト雖モ全然獨立ノ立脚地ニ在リテ何等因ハルル所ナキ意見ヲ披瀝シ得ル本會ノ成案ハ必スヤ他山ノ石タルヘキヲ信ス以下改造案各項ニ就キ其ノ理由ヲ略説セムトス

（一）組織ノ革新

改造ノ第一要點ハ組織ヲ革ムルニ在リ元來預金部ハ政府ノ經營スル銀行業トモ目スヘキモノナルヲ以テ他ノ庶政ノ外ニ特立シ明ニ區畫セラルヽヲ可トス從來預金部ノ事務ハ大藏省内ノ一局ノ副業ナルカ如キ觀アリ且運用内容ノ實相ハ愚カ收支ノ豫算スラ公表セラレサルハ弊害醸成ノ根源タルヲ以テ之ヲ一個獨立ノ機關トシテ事業ノ真情ヲ明白ニシ專任者ノ任命ニヨリ事務ヲ重視セシメ責任ヲ明ニセムト欲ス本會ハ曩ニ特別會計ノ整理ヲ要望セシカ預金部ノ收支ハ上記ノ如キ事業ノ性質上寧ロ特別會計トシテ取扱フヲ適當トスヘシ其ノ名称ヲ預金部トシテ存續スルカ局又ハ課トスルカノ如キハ固ヨリ末節ニ過キス

次ニ現在預金部ノ資金ハ郵便及為替貯金ヲ以テ主體トシ之ニ教育其他ノ特別會計資金等ヲ綜合セリ本案ニ於テハ郵便及為替貯金等以外ニ簡易生命保險ニ屬スル資金及供託金等ヲモ悉ク網羅シ寄託利殖セシメムトス是レ類似ノ資金ヲ統一シテ運用上ノ効

果ヲ大ナラシメ兼テ事務ノ簡捷、經費ノ節約ヲ謀ラムカ為ナリ

理由

(三) 資金運用委員ノ任命

預金部ノ現情ニ對シ改造ノ急務ヲ呼號スル所以ノモノハ主トシテ資金運用カ宜シキヲ得サルニ在リ蓋シ資金ノ大部分ハ郵便及為替貯金ニ屬シ國民訴當ノ結晶ナルヲ以テ之カ運用ハ特ニ確實ヲ旨トシ且公益ヲ增進スヘキ方面ニ投下セラレサルヘカラス然ルニ現制ニ於テハ其ノ運用ヲ大藏大臣ノ自由裁量ニ任シ少數屬僚ノ手ニ因テ按排セラルヽカ故ニ表面ハ國債證券銀行債券等ヲ所有シ或ハ預金ノ形式トシテ體裁ヲ繕フト雖モ其ノ最終ノ放出先ヲ黒裡ニ發露スルハ何等公益ニ関係ナキ奇怪ナル方面ニモ流用セラルヽ金額尠多大ナルコトハ掩フヘカラサルノ事實ナリ今ヤ郵便及為替貯金ノミニテモ實ニ十億圓ヲ超過セリ此ノ巨大ナル資金ノ運用權限ヲ現情ノ下ニ放任スルハ寧ロ之ヲ看過スル民衆ニ於テモ其ノ責ヲ免カレスト稱スヘシ故ニ本案ニ於テハ此ノ積弊ヲ矯正スル為ニ資金運用

ナシト謂フヘカラス

委員ヲ常置セムトス該委員會ニハ運用及利率ニ關スル決定權ヲ附與スルモノニシテ彼ノ單純ナル諮問機關トスルカ如キ不徹底ノ改造ハ寧ロ為サヽルノ勝レルニ如カス而シテ從来政府ノ委員ヲ任命スルヤ概ネ其ノ員數多キニ過クルヲ常トシ各自々家ノ利害ヲ顧慮スル為ニ主張區々ニ岐レテ却テ進行ヲ妨ケ且多數ナルカ為ニ自然責任ヲ分散セラルヽノ弊風ヲ生ス是レ本案カ委員ヲ十名以内ニ制限シ其ノ人選ニ重キヲ置カムトスル所以ナリ又委員ノ配分カ官吏ニ偏重スルハ當局ノ意志ニ追從スルノ傾向ヲ来スコト官営保険資金ニ對スル運用委員會ノ實例ニ徴スルモ明ニシテ預金部資金ノ如キ其ノ性質ヲ見ルモ民衆ノ意志ヲ尊重スヘキモノナルカ故ニ委員ノ多數ヲ民間ヨリ選任シ唯主管者タルノ職責上大藏大臣ヲ以テ其ノ委員長ニ充ツルコトヲ最モ適當ナルヲ認ム

理由

(三) 法規ノ制定

既ニ委員ヲ精選シ是等委員カ誠意ヲ以テ從事スル以上法規ヲ設ケテ

資金ノ運用ヲ限定スルハ唯ニ蛇足ヲ添フルノ嫌アルノミナラス委員ノ自由權限ヲ拘束スルカ如シト雖モ資金ノ運用カ餘リ放漫ニ流レタル過去ノ實情ニ鑑ミ一層ノ安心ヲ置ク爲ニ其ノ運用ヲ確實ニシ且公益ヲ主眼トスヘキ大方針ノ下ニ多少ノ制限ヲ定メ其ノ範圍内ニ於テ委員ノ技倆ニ信頼スルコトハ時弊匡救上當ヲ得タルモノナルヲ感ス而シテ法規實施ニ方リ現ニ運用中ノ資金ニシテ之ニ抵觸スルモノヲ回收スルハ多少ノ困難ヲ伴フヘシト雖モ畢竟將來ニノミ効果ヲ有セシメ常道ノ外ニ奔逸シツヽアル巨額ノ資金ヲ看過スルカ如キハ改造ノ精神ニ違フナクシテ一定ノ時期ヲ劃シテ必ス之ヲ整理セシムルコトハ亦已ムヲ得サルナリ又本資金ノ運用利殖ハ前記ノ如ク純然官營ノ銀行業務ト視做スヘキモノナルヲ以テ其ノ財産状態ヲ明ニスル爲ニ貸借對照表ヲ調製シ毎年度ニ於ケル收支ヲ示ス爲ニ損益計算書ヲ作成シテ定時ニ發表スヘキハ勿論進テ運用資金ノ内容明細書ヲ公示スルコトハ重要ナル資金ヲ寄託シツヽアル民衆ニ對スル當然ノ義務ニシテ法律ヲ以テ之ヲ指定スルコト何等ノ異論ナカルヘシ且又預金部ヲ監督シ善ク法規ノ命スル所ヲ遵守セルヤ否ヤ資金カ正當ニ運用セラレツヽアルヤ否ヤヲ審檢スルハ會計檢査院ノ職務ナリト雖モ過去ニ於ケル監督上ノ實情ハ遺憾ナキ能ハス預金部組織ノ變更ヲ見ルニ於テハ監督ノ地位ニ在ルモノ亦多少ノ緊張ヲ示スヘキヲ信スト雖モ更ニ一段ノ嚴正ヲ期スル爲ニ監理ニ關スル條文ヲ挿入スルコト強チ無用ノ業ニアラサルヘシ

最近ニ政府當局ハ綱紀ノ粛正ヲ標榜シ財政行政ノ整理ヲ企畫シ更ニ進テ財界ノ緊縮ヲ要望シ一般民心亦之ニ歸嚮シツヽアルノ時ニ當リ世間批難ノ焦點トナレル預金部ノ如キハ第一着ニ革新ヲ要スルコト多言ヲ俟タス本會ハ私案ヲ提出スルト同時ニ改造ノ實現カ一日モ早カラムコトヲ期待シテ已マサルナリ

三ノ（理由）ノ中ヘ左ノ事項ヲ加フ

殊ニ預金部ノ運用中ニハ直接預金部ヨリ融通スルモノ及日本銀行指定預金トシテ融通スルモノアリ之等ヲ統一スル事モ必要ナルヘク又従来各會計間ニ於ケル国庫部内各種貸金及国庫餘裕貸ノ如キハ今後預金部ヨリ融通スル事ニ改定スルノ必要モアルヘシ

預金部改造案

（大正十三年十月）

經濟攻究會

本會ハ第二回報告ニ於テ財政組織及政府事業整理方案ヲ提起シ其ノ中ノ一要項トシテ現在預金部ニ屬スル資金其ノ他政府ノ管掌スル資金ヲ總括シ之ヲ處理スル爲ニ特別機關ヲ設クヘキコトヲ唱道シタルカ預金部ノ改造ハ一日モ速ニ實行スルノ必要ヲ認メ之カ具體案ニ關シ講究ヲ遂ケ左ノ如ク決議ス

一、預金部ハ法規ヲ以テ大藏省所屬ノ特別機關トシ之カ機能及監督ヲ明確ニシ郵便貯金其ノ他類似ノ政府受託金及資金ヲ統一シ是等資金ノ保管及利殖ニ關スル一切ノ責務ヲ盡サシムルコト

（理由）改造ノ第一要點ハ組織ヲ革ムルニ在リ元來預金部ハ

政府ノ經營スル銀行トモ目スヘキモノナルヲ以テ一般政務ノ外ニ特立シ明ニ區劃セサルヘカラス然ルニ從來預金部事務ハ實際上大藏省一局内ノ副業ナルカ如キ觀ヲ有シ資金ノ運用ニ殆ト何等ノ制限監督ナク之カ運用ニ關スル内容ノ明細ヲ公表セサルハ弊害醸生ノ根源タリ是ヲ以テ法規ノ下ニ一個ノ獨立ノ機關トシ專任當務者ヲ置キテ其ノ事務ヲ重要視セシメ次項以下ニ述フル如ク資金ノ運用、計算、監理ニ關スル法規ヲ設ケ當局者ノ責任ヲ明ニセムト欲ス

次ニ現在預金部ノ資金ハ郵便貯金ヲ主體トシ之ニ簡易生命保險ニ屬スル資金其ノ他ノ特別會計資金等ヲ綜合セリト雖モ其ノ中簡易生命保險積立金ノ如キハ別ニ運用方法ヲ定メ預金部ハ一時之ヲ保管スルニ止マレリ本案ハ總テ之ヲ當部ノ管掌ノ下ニ置キテ運用上ノ統一ヲ謀リ兼テ事務ノ簡捷ヲ期セムトス又預金部ノ資金ハ政府ノ會計ニ屬セサルカ故ニ收支豫算ヲ編成シテ議會ノ協賛ヲ經ルノ要ヲ見サルモ事務費ノミハ當部ノ官制ニ伴フ一般會計内ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

二、預金部ニ屬スル資金ノ運用方法及運用利率ヲ決定スル爲ニ運用委員ヲ置クコト

運用委員ノ數ハ十名以内トシ其ノ三分ノ二以上ヲ民間ヨリ任命スルコト

大藏大臣ヲ運用委員長トスルコト

（理由）預金部ノ現情ニ對シ改造ノ急務ヲ高唱スル所以ノモノハ主トシテ資金運用カ宜シキヲ得サルニ在リ蓋シ資金ノ大部分ハ郵便貯金ニ屬シ國民勤勞ノ結晶ナルヲ以テ之カ運用ハ特ニ確實ヲ旨トシ且公益ノ增進ニ資セサルヘカラス然ルニ現在ニ於テハ之カ運用ヲ大藏大臣ノ自由裁量ニ任シ事實上少數吏員ノ手ニ因テ按排セラ

ルヽカ故ニ表面國債證券銀行債券等ヲ所有シ又ハ預金ノ形式
トシテ體裁ヲ成スト雖モ其ノ最終ノ放出先ヲ審檢スレハ何等公
益ニ關係ナキ事業及不穩當ナル方面ニモ流用セラルヽモノ多キハ掩
フヘカラサルノ事實ナリ今ヤ郵便貯金ノミニテモ實ニ拾億圓ヲ超
過セリ此ノ如キ巨大ナル資金運用ノ權限ヲ現情ノ下ニ放任スルハ
之ヲ看過セル民衆ニ於テモ亦其ノ責ナシト謂フヘカラス故ニ本案ニ
於テハ此ノ積弊ヲ矯正スル爲ニ法規ヲ定メ資金運用委員ヲ常置
セムトス該委員會ニハ運用及利率ニ關スル決定權ヲ附與セムトス
ルモノニシテ單純ナル諮問機關ノ如キ不徹底ナル組織ノ謂ニアラス
而シテ從來政府ノ委員ヲ任命スルヤ概ネ其ノ員數多キニ過クルヲ
常トシ各自々家ノ利害ヲ顧慮シテ主張區々ニ岐レ爲ニ事ノ進行
ヲ妨クルノミナラス自然其ノ責任散漫ニ流ルヽノ弊風ヲ生ス是レ本案
カ委員ヲ十名以內ニ制限シ其ノ人選ニ重キヲ置カムトスル所以ナリ又
委員ノ配分カ官吏ニ偏重スルトキハ當局ノ意志ニ追從スルノ傾向
アルコト簡易保險資金ニ關スル運用委員會ノ實例ニ徵スルモ明ナ
リ預金部資金ノ性質ヨリ見ルモ其ノ運用ハ民衆ノ意志ヲ尊重
スヘキモノナルカ故ニ委員ノ多數ヲ民間ヨリ選任シ唯職責上大藏大臣
ヲ以テ其ノ委員長ニ充ツルコト最モ適當ナリト認ム

三、資金運用上ノ限定、貸借對照表、損益計算書及運用資金內
容明細書ノ定時公表竝ニ業務監督ニ關スル規定ヲ設クルコト
本規定ノ實施ニ際シ之ニ牴觸スル運用中ノ資金ハ或時期マテニ之ヲ整
理スルコト

（理由）既ニ委員ヲ精選シ是等委員カ誠意ヲ以テ從事スル以上法
規ニ因テ資金ノ運用ヲ限定スルハ或ハ蛇足ヲ添フルノ嫌アリ且委員
ノ自由權限ヲ拘束スルカ如シト雖モ資金ノ運用カ餘リニ放漫ニ流
レタル過去ノ實情ニ鑑ミ特ニ其ノ運用ヲ確實ニシ且公益ヲ主眼

トスヘキ大方針ノ下ニ一定ノ制限ヲ定メ其ノ範圍内ニ於テ委員ノ裁斷ニ任スルハ時弊匡救上當ヲ得タルモノナルヲ信ス而シテ法規ノ實施ニ當リ現ニ運用中ノ資金ニシテ之ニ抵觸スルモノヲ回收スルハ多少ノ困難ヲ伴フヘシト雖モ既ニ常道ノ外ニ奔逸セル巨額ノ資金ハ宜シク一定ノ時期ヲ劃シテ之ヲ整理スヘシ又本資金ノ運用利殖ハ前記ノ如ク宛然官營ノ銀行業務ト看做スヘキモノナルヲ以テ其ノ資産状態ヲ明ニスルカ爲貸借對照表ヲ調製シ又毎年定時ニ其ノ收支ヲ示スヘキ損益計算書ヲ作成シテ之ヲ發表スルノミナラス進テ運用資金ノ内容ヲ明細ニ公示スルコトハ重要ナル資金ヲ寄託シツヽアル民衆ニ對スル當然ノ責務ナリ其ノ他監理ニ關スル條文ヲ設ケ善ク法規ノ命スル所ヲ遵守セルヤ否ヤ資金ノ運用カ正當ナルヤ否ヤヲ審査スルコト亦

最モ緊要ナルコトニ屬ス

最近ニ政府當局ハ綱紀ノ粛正ヲ標榜シ財政行政ノ整理ヲ企畫シ更ニ進テ財界ノ緊縮ヲ要望セリ是時ニ當リ世間批難ノ焦點トナレル預金部ノ如キハ第一着ニ革新ヲ要スルコト多言ヲ待タス本會ハ茲ニ私案ヲ提出スルト同時ニ改造ノ實現カ一日モ早カラムコトヲ期待シテ已マサルナリ

拜啓左記件々御通知申上候

一、預金部改造案ノ件

本決定案ハ主トシテ新聞社及経済雑誌社ニ送附シ且大蔵大臣及大蔵省ノ主要官吏ニモ配附セリ而シテ實ハ大蔵相ヨリハ立案上大ニ参考トナル旨特ニ申出アリ本會提案ノ實効ニ関シテハ承知シ難キモ大蔵省ニ於テ預金部改造案ヲ審議スルニ方リ本案ニ多大ノ注意ヲ拂ヒタルコトハ事實ナリト仄聞ス

一、特別會計整理案ノ件

本案ハ去十月廿三日ノ總會ニ於テ協議ノ結果印刷局、專賣局、千住製絨所、製鐵所及簡易生命保険ノ五會計ハ特別會計ニ存續シ其他ハ全部一般會計ニ移スカ又ハ廢止スルコトニ決定セリ委細ハ近日理由書作製ノ上報告スヘシ

一、為換低落應急策ニ関シ十一月五日開會ノ件

現下ノ為換低落問題ニ関シ去廿三日ノ總會ニ於テ意見ノ交換ヲ試ミタルニ

本問題ハ社會一般ノ利害消長ニ至大ノ関係ヲ有スル重要事項ナレハ重ネテ審議シ成ルヘク之カ對策ヲ決定シテ世上ニ公表スヘシトノ意見多数ナリシニ付來ル十一月五日(水曜日)午後五時ヨリ銀行倶樂部ニ總會ヲ開キ左案ヲ議題トシテ研究ヲ重ネントス

「圓價回復策トシテ輸入管理ヲ爲スノ可否」

以上御通知申上候來ル五日御出席ノ有無御回答相煩度候也

大正十三年十月廿九日

経濟攻究會委員
志立鐵次郎

田中鐵三郎様

拜啓豫テ御通知申上置候通リ來ル二十五日火曜日午後五時ヨリ銀行倶樂部ニ於テ開會ノ總會議案左記ノ通リニ付御繰合御來會被下度候也

大正十三年十一月十九日

経濟攻究會委員 志立鐵次郎

第一號議案參考

○貨幣法第二條

純金ノ量目二分ヲ以テ價格ノ單位ト爲シ之ヲ圓ト称ス

○兌換銀行券條例第一條

兌換銀行券ハ日本銀行條例第十四條ニ據リ同銀行ニ於テ發

拝啓豫テ御通知申上置候通リ来二十五日火曜日午後五時ヨリ銀行倶楽部ニ於テ開會ノ總會議案左記ノ通リニ付御繰合御来會被下度候也

大正十三年十一月十九日

経済攻究會委員志立鐵次郎

田中鐵三郎様

第一號議案　圓價回復策

甲案　速ニ金貨ノ輸出禁止ヲ解除スルコト

乙案　為換相場ヲ標準トシテノ金貨ノ自由拂渡ヲ開クコト

實行時期　(一)速時決行　(二)豫告期間ヲ與ヘテ後實行

丙案　輸入ノ管理ヲ為シ原料其他必需品ニ限リ相當價格ヲ以テ自由ニ金貨ヲ拂渡スコト

丁案　成行ニ放任スルコト

戊案　外國支拂資金ヲ補充スル為メ金貨ヲ現送スルコト

己案　外國ニ「クレディット」ヲ設定シテ為換相場ヲ喰止メ同時ニ圓價回復ヲ目標トシテ徹底的物價調節策ヲ決行スルコト

庚案　貨幣ヲ改造シテ圓ノ平價ヲ低下シ兌換制度ヲ回復スルコト

第二號議案

鐵道新設工事ノ中止ハ財政整理上喫緊ノ事ニ屬スルヲ以テ既定計畫ハ断然之ヲ打切リ輸送能率ノ増進ニ全力ヲ盡スベキコト

第一號議案参考

○貨幣法第二條　純金ノ量目二分ヲ以テ價格ノ單位ト為シ之ヲ圓ト称ス

○兌換銀行券條例第一條　兌換銀行券ハ日本銀行條例第十四條ニ據リ同銀行ニ於テ發

行シ金貨ヲ以テ兌換スルモノトス

○大正六年九月十二日大蔵省令第二十八號

金貨幣又ハ金地金ヲ輸出セントスル者ハ大蔵大臣ノ許可ヲ受クヘシ但外国ニ旅行スル者金貨幣百円未満ヲ携帯スル場合ハ此ノ限リニアラス

前項規定ニ違反スルモノハ三月以下ノ懲役又ハ百円以下ノ罰金ニ處ス

地金トシテ販賣シ又ハ使用スル目的ヲ以テ金貨幣ヲ蒐集鑄潰又ハ毀傷シタル者ノ罪亦前項ニ同シ

○大正十三年十一月一日大蔵省發表同時實行金地金賣値變更理由

從來金細工業者、歯科醫等ニ對シ便宜正金銀行ニ於テ金地金ヲ大体造幣價格ヲ標準トシテ賣却シ來レルモ奢侈ヲ抑壓シ金ノ密輸出ヲ防止シ且國内ノ産金ヲ奨勵スル目的ヲ以テ十一月一日以後ハ為換相場ニ據リ賣却スルコト

圓價回復策

經濟攻究會

円價ノ回復ハ金貨輸出ノ解禁ニ依ルノ外良策ナキヲ以テ速ニ之ヲ斷行スルコト

（理由）本會ハ本年五月第三回報告ヲ以テ我經濟界救治方案ヲ發表シタルカ其ノ一要項トシテ速ニ金輸出禁止ノ解除ヲ行フコトヲ提議シタリ蓋シ円ノ價値カ弗ノ價値ニ比シテ低位ニ在ルハソレタケ其ノ購買力カ低キヲ示スモノナルカ故日米兩國ノ貨幣購買力ヲ一致セシメ以テ貨幣價値ノ平均ヲ保タシメサルヘカラス而シテ之カ方法ハ正貨ノ機能ヲ復シテ之ヲ國際貸借ノ決済ニ使用スルト共ニ最大消費者タル政府ノ經費ヲ徹底的ニ節減スルノ途アルノミ斯ノ如クニシテ通貨信用ヲ收縮スレハ茲ニ民心ヲ刺戟シテ勤險努力ニ嚮ハシメ同時ニ物價及勞銀ノ低下ヲ致シ生產ヲ容易ナラシメ輸出ヲ促進スルヲ得ヘシ本會ハ此ノ案ヲ具シテ政府ノ英斷ヲ要望シタル以來既ニ數月ヲ閲シタルカ政府ノ行政財政整理ハ期待シタル如ク行ハレスシテ民心ヲ緊張シ物價ヲ低落セシムル程ノ效力無ク貿易ノ情勢ハ稍觀ヲ改メタルモ是ハ偶々輸出時期ニ入リタル恒例的現象ニ過キス輸出超過ハ豫定額ニ達セサルコト尚ホ遠ク前途ハ再ヒ逆轉スヘキコト明白ニシテ從來ノ莫大ナル輸入超過ヲ補塡スルカ如キハ固ヨリ望ムヘカラス是ヲ以テ爲替ハ更ニ激落シテ我貨幣ノ對外價値益低落シ國家ノ信用遞下ヲ感スルコト實ニ寒心ニ堪ヘス近來爲替問題ハ特ニ世間ノ重視スル所トナリテ金輸出ノ解禁ニ對スル可否ノ議論紛生シ政府當局モ亦之カ調節ニ努力スヘキコトヲ聲明シタリ而モ當局ノ方策トシテ指示スル所ニ據レハ在外正貨ノ拂下、内地正貨ノ現送其ノ他ノ方法ニヨリ爲替ノ低落ヲ防止スルノ積極的方針ヲ取ラムトスルニ過キサルハ頗ル不滿トスル所ナリ本會ハ現状ニ鑑ミ益解禁斷行ノ必要ヲ感シ茲ニ再ヒ之カ決議ヲ爲

〇大正六年九月十二日大藏省令第二十八號

シタリ其ノ理由ハ曩ニ詳説シタルヲ以テ之ヲ繰返ヘサスト雖モ當局者往々一部論者カ解禁ノ断行ヲ躊躇スル根據ノ餘リ薄弱ナルヲ見テ黙止スル能ハス少シク前言ヲ補足スルノ要アルヲ認ム

特ニ甚シキ謬見ハ人為ヲ加ヘスシテ為替ヲ自然ノ成行ニ放任スヘシトノ意見ニシテ此ノ説ハ為替ノ低落ハ輸入ヲ制限シ輸出ヲ奨勵スヘキヲ以テ自然的ニ貿易ヲ改善シ為替ヲ調節スヘキコトヲ期待スルモノヽ如シ然レトモ金輸出禁止ノ障壁ヲ設ケ正貨ヲ以テスル貿易ノ決済ヲ停止スルハ是レ河流ヲ杜塞スルト同一ニシテ人為ヲ濫用シテ自然ニ反抗スルコト是ヨリ大ナルハ無シ此ノ如クニシテ貿易ノ回復ヲ望ムハ百年河清ヲ待ツニ均シ元来我國ハ物資ノ供給豊富ナラス純然タル輸出品トシテ倚頼スヘキモノハ生絲外數品ニ過キス紡績絲及毛織物ノ如キハ皆原料ヲ外國ニ仰カサルヘカラス其ノ他必需品トシテ輸入ニ待タサ

ルヲ得サルモノ頗ル多シ故ニ今後或ル程度以上輸入ノ減縮ヲ望ムコト困難ニシテ而モ為替低落ノ為ニ非常ナル高價品ヲ購入スルコト、ナリ全國民ノ損害量ルヘカラス又輸出方面ヲ觀ルニ目下生絲及綿絲等ハ活況ヲ示セルモ是ハ英米財界ノ好況、支那内乱ノ終結等外國ノ事情ト為替關係ト相合シテ輸出ヲ促進シタルモノニシテ今後海外ノ急需一巡スルト同時ニ物價ノ昂進ニ基ク生産費ノ遞増ニ因リ輸出ノ挫折ヲ招クヘキコト明ニシテ永續性ニ乏シキモノト稱スヘシ徒ニ一時ノ現象ヲ見テ將来ヲ考慮セサルハ實ニ淺見ト謂フヘシ

次ニ政府當局者往々之ニ附和スル論者ノ所見ヲ概言スレハ金ノ輸出解禁ハ之ヲ至當ト認ムルモ既ニ時機ヲ逸シタルヲ憾ム若シ今日之ヲ實行スル時ハ為替及商品市價ノ激變ニヨリ關係業者中ニ甚大ナル損傷ヲ與ヘ延テ財界ノ恐慌ヲ激成スヘキヲ以テ解禁ハ為替

カ平價ニ囘復スルノ時ヲ待タサルヘカラスト云フニ在リテ應急ノ方策トシテハ前記ノ如キ消極的方針ニ依リテ爲替ヲ調節シ徐々ニ官民節約ノ實行ト生産ノ奬勵トニ依リテ貿易ノ逆勢ヲ救治セムトスルモノヽ如シ

右ハ當局者トシテ各方面ニ支障ヲ及ホサヽル意義ニ於テ穏健ナル措置ノ如ク感セラルト雖モ此ノ如キ姑息ナル手段ハ最早今日ニ於テハ何等施ス無キト擇フ所ナカルヘシ第一解禁カ時機ヲ逸シタルコトハ本會モ亦之ヲ認ム故ニ今日之ヲ實行スレハ其ノ後レタルタケ反應激烈ニシテ苦痛深刻ナルコト亦免カルヽヲ得ス恰モ外科手術ニ因テ患部ヲ切開スルカ如シ輕症ノ時ニ於テ之ヲ施セハ極メテ容易ナリシモ今日ニ及ヒテハ比較的大ナル苦痛ヲ忍ハサルヘカラス而モ之ヲ嫌忌シテ時日ヲ遷延セハ病ハ遂ニ膏肓ニ入リ一策ノ施スヘキ無キニ至ラムトス金解禁ノ断行ニヨリ一部

犠牲者ヲ出スハ避クヘカラサルコトニシテ之ニ因テ物價騰貴ニ苦シミツヽアル全国民ノ困弊ヲ救治シ危殆ニ趨カムトスル國家ノ經濟的基礎ヲ保持シ得ルコトニ想到セハ其ノ得失輕重ノ差固ヨリ智者ヲ待チテ後ニ知ラス且夫レ突發的作用ニ因リ物價激落スル場合ニ於テ之カ影響ヲ被ル者ハ主トシテ投機者流ニシテ眞正ナル取引業者ハ金解禁反對論者ノ懼ルヽ程甚大ナル實害ヲ受クルモノニアラス一時彼等ハ苦痛ヲ感スヘキモ久シカラスシテ市場平靜ニ歸シ爲替ノ安定ト共ニ堅實ナル取引行ハレ在荷品ノ需要起リテ苦痛ノ緩和セラレ茲ニ産業貿易ノ生面ヲ開クヲ得ヘシ爲替ノ急激ナル囘復カ財界ニ及ホス影響ノ案外憂フルニ足ラサルハ本年三月中旬後佛国法貨ノ價値激騰シタル當時ノ事情最モ雄辯ニ之ヲ證明スポアンカレーハ嚴密ナル調査ノ上法貨暴落ノ眞因カ財政ノ紊乱歳出入ノ大不平均ヨリ生スル信用ノ失墜ニ在ルヲ確メ

財政ノ整理緊縮ト租税ノ増徴トヲ断行シテ以テ歳出
入ノ確實ナル均衡ヲ期スヘキ大決心ヲ為シ一律ニ割
増税案其ノ他ノ財政案ヲ議會ニ提出シテ其ノ同意ヲ
得ルト共ニ英米両国ニ「クレデイツト」ヲ設定シテ為替
資金ニ備フルノ方策ヲ定メタリポアンカレーニ代リ
テ内閣ヲ組織シタルエリオーモ全然前内閣ノ財政々
策ヲ踏襲シ豫算ノ嚴正ナル均衡ヲ期スルコト絶對必
須ナル旨ヲ聲明シ着々之ヲ實行セリ斯ノ如クニシテ
法貨ハ急激ニ回復シ本年三月八日英貨一磅ニ對シ百
二十二法五〇ニ下落シタル為替相場（造幣比價二十五
法二二五）ハ四月二日七十三法ニ昇騰シ即チ一ケ月ニ
満タサル内平價ニ對スル低價割合三十八割ヨリ十九
割ニ暴騰セリ之カ為ニ諸株式暴落シ蘇士運河株ハ一
萬四千六百法ヨリ九千二百法ニ「リオテイント」銅山
株ハ三千八百二十法ヨリ二千四百法ニ激落スル等株
式市場ハ大混乱ノ状ヲ呈シ銀行亦大ニ警戒セリ然レ

トモ一般国民ハ案外冷静ニシテ政府ノ決心ヲ歡迎シ
眞正ナル商工界ハ格別動揺ノ模様無ク投機界以外ハ
平穏ニ経過シ爾来貿易頗ル順調ニ進捗シテ本年初以
来七月末マテニ二十億法餘ノ輸出超過ヲ来シ殊ニ製
造品ノ輸出著シク増加セリ又物價ノ指數ニ於テモ本
年四月末卸賣商品ハ二月末ニ比シ九十六「ポイント」下
落シタリ其ノ後幾分変動ノ氣配アリシモ大体下落ノ
趨勢ヲ辿リ就中内国産ノ食料品ニ於テ著シキ低落ヲ
告ケ一般民衆ノ苦痛頗ル軽減セラレタリ今我国ノ経
済状態如何ニ不良ナルモ金解禁ノ為メ円ノ價値急激
ノ回復ヲ告ケタリトテ論者ノ惧ル、カ如キ恐慌ヲ招
致スルコト無カルヘキハ佛国ノ近例ニ徴シテ疑ナシ
ト信ス

第二為替ノ平價ニ復スルヲ待チテ解禁ヲ實行セヨト
言フニ至リテハ其ノ眞意ヲ解スルニ苦シム蓋シ解禁
ハ手段ニシテ目的ニアラス之ヲ行フハ為替ヲ回復セ

ムカ為ナリ若シ他ノ方法ニヨリ為替カ容易ニ回復シ目的カ達成セラル丶ニ於テハ何ソ復タ解禁ヲ要セムヤ當局者ハ前記ノ如ク國民ノ緊縮ト生産ノ振興トニ依リ現態ヲ救済シ得ルコトニ屬望シ英國カ實行シタル事例ニ模倣セムト期スルカ如キモ是ハ我國情ト民心ノ機微ニ洞達セサルモノナリ由来我國ハ天恵ニ乏クシテ富源ノ拓殖、産業ノ振興ニハ特別ノ奮勵ヲ要スルニ拘ハラス近時民心ノ歸趨ヲ觀ルニ遺憾ナカラ意思荒怠シテ緊張味ヲ缺ケリト謂ハサルヲ得ス火ニ遇テ狼狽スルモ煙ヲ見テハ警メス敵國外患ニ對シテハ極度ノ發憤ヲ致スモ財界ノ土崩的侵蝕ニ因ル邦家ノ危難ニ冷淡ナル國民ニ對シテハ敢テ好マヌコト十カラ金貨流出ナル鐵槌ヲ加ヘ災害ノ身ニ迫レルヲ自覺セシメサルヘカラス歐米ノ經済學者中為替ノ急激ナル昇騰ヲ戒ムル者アルモ是ハ普通一般ノ場合ニ適用スヘキ學說ニシテ反省心ニ乏シキ我國民ニ應用ス

ヘキニアラス我政府ノ行財政整理カ佛國ノ如ク行ハレタラムニハ國家ノ信用ト共ニ円價モ多少回復シタルヘキニ政府ノ整理カ既ニ識者ノ期待ヲ裏切リタル以上速ニ金ノ輸出禁止ヲ解除スルノ必要愈大ナルヲ加ヘタリ徒ニ口舌ニ依ル訓誡又ハ紙片ノ宣傳ノ如キハ何等ノ効力無カルヘシ

尚ホ大藏省ハ大正六年九月省令ヲ以テ金ノ輸出制限及金貨ノ鑄潰等ヲ禁止シ更ニ本年十一月ヲ以テ正金銀行カ金地金ヲ賣却スルニ當リ從来造幣價格ヲ標準トシタルヲ改メテ以後為替相場ニ據リ賣却スルコトヲ發表シタルカ此ノ兩者ハ法律ニ據ラスシテ事實上兌換制度ヲ停止シ兌換券ヲ不換紙幣ト為シタルト同一ノ効力アル行政行為ニシテ而モ勅令ニモアラサル一片ノ省令又ハ通知ヲ以テ法律ヲ變更シタル重大事件ナルカ斯ノ如キハ憲政各國ニ實例ナキハ勿論我憲法ノ條項ニ照シテモ其ノ不法ナルハ言ヲ待タス然ル

ニ国民深ク之ヲ怪マサルモノ亦以テ我国民ニ痛撃ヲ加ヘテ之ヲ覚醒スルノ理由タラストセス
以上說キ来レハ今日ハ最早唯一ノ手段タル金輸出ノ解禁ヲ取ルノ外良策ナシ現實ニ苦痛ヲ体験スルニ因テ生スル国民ノ自覺的節制及努力ト通貨收縮ニ伴フ物價ノ低落ト相待チテ始テ産業ノ伸暢、爲替ノ好轉ヲ望ムヲ得ヘシ要ハ當局者ノ英断如何ヲ顧ルノミ

鐵道問題對策

鐵道新設工事ノ中止ハ財政整理上喫緊ノ事ニ属スルヲ以テ既定計畫ハ断然之ヲ打切リ運賃ノ低廉運送能率ノ増進ニ全力ヲ盡スヘキコト

（理由）本項モ亦本會カ曩ニ決議シタル政府事業整理方案中ノ一項ニシテ其ノ理由ハ載セテ第二回報告中ニ在ルヲ以テ茲ニ記述スルノ要ナシ唯再ヒ此ノ決議ヲ爲シタル所以ノモノハ鐵道豫算問題カ紛糾ヲ極メタルノミナラス協調ノ結果トシテ傳ヘラル、成案カ財政整理ノ精神ニ違フヲ見テ頗ル技癢ニ堪ヘス重ネテ世論ニ訴ヘムト欲ス

抑モ財政ヲ根本的ニ建直シ我財界ノ救治ト民力ノ休養ヲ謀ルハ現内閣カ公表シタル政綱ノ一ニアラスヤ此ノ目的ヲ達成スル爲ニハ非常ノ決心ト努力ヲ要スルト同時ニ萬般ノ施設ニ方リテハ事態ノ軽重緩急ヲ衡量シ國家全体ノ利害ヲ顧ミサルヘカラス從テ一切ノ情實ヲ排斥シ從来ノ行掛リニ拘泥セサルハ勿論之カ爲ニ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ一時ノ不便ヲ忍フコト亦已ヲ得サルナリ今次問題トナレル鐵道施設ノ如キハ最モ痛切ニ之カ適用ヲ受クヘキモノニシテ歴代内閣ノ誤レル鐵道政策ハ此ノ際断然抛棄スヘキモノナルコト多言ヲ待タス新鐵相ノ最初ノ提案トシテ傳ヘラルルモノヲ觀ルニ改良ト建設トノ比率ニ對シ大ナル變革ヲ加ヘタルハ之ヲ多トスト雖モ實際ヲ言ヘハ猶ホ

因ハル、所アルニ歎焉タラサルヲ得ス況ムヤ舊来ノ政策ヲ復活セムト努ムルニ於テヲヤ固ヨリ各地方ノ事情ト各箇人ノ立場ヲ異ニスルカ為ニ之カ主張ヲナスモノナルヘシト雖モ離テ我財政ノ實情ニ鑑ミ眼ヲ大局ニ注クニ於テハ這般ノ問題ハ瞬時ニ解決スヘシ多クノ貴重ナル時間ヲ費シ波瀾曲折ヲ重ネテ而モ其ノ歸着スル所彼ノ如キハ實ニ遺憾ニ堪ヘス

勿論鐵道ノ發達ハ産業ノ振興ニ至大ノ關係ヲ有スルカ故ニ寸時モ閑却スヘキニアラスト雖モ現下ノ財政状態トシテハ投下シ得ヘキ資金豊富ナラサルヲ以テ出来得ル限リ之ヲ活用シ其ノ施設ヨリ生スル収利ノ多大ヲ期セサルヘカラス故ニ運輸上ノ故障續出シ滞貨堆積セル今日ニ在リテハ運賃ヲ低下シ且輸送能率ノ増進ニ全力ヲ盡スヲ以テ急務トスヘシ是レ反テ鐵道ノ收益ヲ増加スルト同時ニ産業ノ發展ヲ助長スヘキ両全ノ策タルノミナラス收益ノ餘裕ハ他日建設工

事費ニ充用シ得ルノ利アリ所謂鐵道既定計畫ナルモノ、杜撰ナルコトハ曩ニ之ヲ指摘シタリト雖モ其ノ中實際建設ノ必要アルモノ亦之レ無シトセス若シ鐵道ノ營業成績好化ニ頼リ建設工事ノ進捗ヲ期待スルヲ得ハ縦令ヒ着手ノ日ヲ遲延スルモ竣成ノ期ハ却テ速ナルヘシ鐵道當局者カ改良ニ重キヲ置ク趣旨ノ中ニハ此ノ意ヲ加味セルコトヲ仄聞セリ之ニ關シテハ贊同ニ憚カラサルト同時ニ本會ハ更ニ一歩ヲ進メ新設工事ハ當分之ヲ中止シ以テ財政整理ノ精神ヲ貫徹セムコトヲ冀望シテ止マサルナリ

圓價ノ回復ハ金貨輸出ノ解禁ニ依ルノ外良策ナキヲ以テ速ニ之ヲ斷行スルコト

（理由）本會ハ本年五月第三回報告ヲ以テ我經濟界救治方案ヲ發表シタルカ其ノ一要項トシテ速ニ金輸出禁止ノ解除ヲ行フコトヲ提議シタリ蓋シ甲國ノ貨幣價値カ乙國ノ貨幣價値ニ比シテ低位ニ在ルハソレタケ貨幣購買力カ低キ爲ナルヲ以テ兩國ノ貨幣購買力ヲ一致セシメテ玆ニ始メテ貨幣價値ノ平均ヲ保タシムルヲ得ヘシ故ニ我圓ノ價値ヲ弗ノ價値ニ高メ爲替ヲ平準ニ復スルニハ米國ノ物價指數ヲ目標トシテ我通貨信用ノ收

衡ヲ計リ以テ圓ト弗トノ購買力ヲ正當ノ比率通リ一致セシムルノ外策ナク之カ方法トシテハ正貨ノ機能ヲ復シテ之ヲ國際貸借ノ決済ニ使用スルト共ニ最大消費者タル政府ノ冗費ヲ徹底的ニ節減スルノ途アルノミ斯ノ如クニシテ通貨信用ヲ收縮スレハ茲ニ民心ヲ刺戟シテ勤儉努力ニ精ハシメ同時ニ物價及勞銀ノ低下ヲ致シ生産ヲ容易ナラシメ輸出ヲ促進スヘク斯ク一擧兩得ノ方策ナリ此ノ案ヲ具シテ政府ノ英斷ヲ要望シタル以來茲ニ數月ヲ閲シタルカ政府ノ行政財政整理ハ期待シタル如ク行ハレスシテ民心ヲ緊張シ物價ヲ低落セシムル程ノ効力無ク貿易ノ情勢ハ稍觀ヲ改メタルモ是ハ僅々輸出時期ニ入リ

タル恒例的現象ニ過キス輸出超過ハ豫定額ニ達セサルコト尙ホ遠ク前途ハ再ヒ逆轉スヘキコト明白ニシテ從來ノ莫大ナル輸入超過ヲ補塡スルカ如キハ固ヨリ望ムヘカラス是ヲ以テ爲替ハ更ニ激落シテ我貨幣ノ對外價値益低落シ國家ノ信用遞下ヲ感スルコト實ニ寒心ニ堪ヘス近來爲替問題ハ特ニ世間ノ重視スル所トナリテ金輸出ノ解禁ニ對スル可否ノ議論紛生シ政府當局者モ亦憂惧ノ色ヲ現ハシ之カ調節ニ努力スヘキコトヲ聲明シタリ而モ當局ノ方策トシテ指示スル所ニ據レハ在外正貨ノ拂下、內地正貨ノ現送其ノ他ノ方法ニヨリ爲替ノ低落ヲ防止スルノ消極的方針ヲ取ラムトスルニ過キサルハ頗ル不滿

防止スルノ消極的方針ヲ取ラムトスルニ過キサルハ頗ル不貨ノ騰下ヲ内地正貨ノ現送其ノ他ノ方法ニヨリ爲替ノ低落ヲ說明シタリ而モ當局ノ方針トシテ指示スル所ニ據レハ在外正所當局者モ亦[illegible]ヲ認ハシ之カ調節ニ努力スヘキコトヲ[illegible]スル所トナリテ金輸出ノ解禁ニ對スル可否ノ議論紛々トシテ政ヲ[illegible]スルコト實ニ寒心ニ堪ヘス近來爲替問題ノ特ニ世間ノ重害ハ更ニ激發シテ我貨幣ノ對外價値著シク低落シ國家ノ信用ヲ墜下輸入超過ヲ補塡スルカ如キハ固ヨリ望ムヘカラス是ヲ以テ協ホ當分ノ前途ハ再ヒ惡化スヘキコトハ明白ニシテ從來ノ莫大ナル[illegible]

トスル所ナリ本會ハ今モ猶ホ金輸出ノ解禁ヲ主張シ是ヲ以テ爲替ヲ回復スヘキ唯一ノ方策ナルコトヲ信ス其ノ理由ハ既ニ詳說シタルヲ以テ之ヲ繰返ヘサスト雖モ當局者並ニ一部論者カ解禁ノ斷行ヲ躊躇スル根據ノ餘リ薄弱ナルヲ見テ默止スル能ハス少シク前言ヲ補足スルノ要アルヲ認ム

特ニ甚シキ謬見ハ爲替ヲ自然ノ成行ニ放任シ人爲ヲ加フルヲ不可トスルノ意見ニシテ此ノ說ハ爲替ノ低落ハ輸入ヲ制限シ輸出ヲ獎勵スヘキヲ以テ自然的ニ貿易ヲ改善シ爲替ヲ調節スヘキコトヲ期待スルモノヽ如シ然レトモ金輸出禁止ノ障壁ヲ設ケ正貨ヲ以テスル貿易ノ決濟ヲ停止スルハ是レ河流ヲ杜塞

スルト同一ニシテ人爲ヲ濫用シテ自然ニ反抗スルコト是ナリ

大ナルハ無シ此ノ如クニシテ貿易ノ回復ノ望ムハ百年河淸ヲ待ツニ均シ元來我國ハ物資ノ供給豐富ナラス純然タル輸出品トシテ倚頼スヘキモノハ生絲外數品ニ過キス紡績絲及毛織物ノ如キハ皆原料ヲ外國ニ仰カサルヘカラス其ノ他必需品トシテ輸入ニ待タサルヲ得サルモノ頗ル多シ故ニ今後或ル程度以上輸入ノ減縮ヲ望ムコト困難ニシテ而モ爲替低落ノ爲ニ非常ナル高價品ヲ購入スルコト、ナリ全國民ノ損害量ルヘカラス又輸出方面ヲ觀ルニ目下生絲及絹絲等ハ活況ヲ示セルモ是ハ英米財界ノ好況、支那內亂ノ終結等外國ノ事情ト爲替關係ト

力相綜合シテ輸出ヲ促進シタルモノニシテ今後海外ノ急需一巡スルト同時ニ物價ノ昂進ニ甚ク生産費ノ遞增ニ因リ輸出ノ挫折ヲ招クヘキコト明ニシテ永續性ニ乏シキモノト稱スヘシ徒ニ眼前中間景氣發生ノ兆候ニ眩惑シテ將來ヲ考慮セサルハ實ニ憫ムニ堪ヘタリ

次ニ政府當局者並ニ之ニ附和スル論者ノ所見ヲ概言スレハ金ノ輸出解禁ハ之ヲ至當ト認ムルモ既ニ時機ヲ逸シタルヲ憾ム若シ今日之ヲ實行スル時ハ爲替及商品市價ノ激變ニヨリ關係業者中ニ甚大ナル損害ヲ與ヘ延テ財界ノ恐慌ヲ激成スヘキヲ以テ解禁ハ爲替カ平價ニ回復スルノ時ヲ得タサルヘカラスト

云フニ在リテ應急ノ方策トシテハ前記ノ如キ消極的方針ニ依リテ爲替ヲ調節シ徐々ニ官民節約ノ實行ト生産ノ奬勵トニ依リテ貿易ノ逆勢ヲ救治セムトスルモノヽ如シ

右ハ當局者トシテ各方面ニ支障ヲ及ホサヽル意義ニ於テ穩健ナル措置ノ如ク感セラルト雖モ此ノ如キ姑息ナル手段ハ最早今日ニ於テハ何等施ス無キト擇フ所ナカルヘシ第一解禁カ時機ヲ逸シタルコトハ本會モ亦之ヲ認ム故ニ今日之ヲ實行スレハ其ノ後レタルタケ反應激烈ニシテ苦痛深刻ナルコト亦免カルヽヲ得ス恰モ外科手術ニ因テ患部ヲ切開スルカ如シ輕症ノ時ニ於テ之ヲ施コセハ極メテ容易ナリシモ今日ニ及ヒテハ比

較的大ナル苦痛ヲ忍ハサルヘカラス而モ之ヲ嫌忌シテ時日ヲ遷延セハ病ハ遂ニ膏盲ニ入リ策ノ施スヘキ無キニ至ラムトス金解禁ノ斷行ニヨリ一部犠牲者ヲ出スハ避クヘカラサルコトニシテ之ニ因テ物價騰貴ニ苦シミツヽアル全國民ノ困弊ヲ救治シ危殆ニ趨カムトスル國家ノ經濟的基礎ヲ保持シ得ルコトニ想到セハ其ノ得失輕重ノ差固ヨリ智者ヲ待テ後ニ知ラス且夫レ突發的作用ニ因リ物價激落スル場合ニ於テ之カ影響ヲ被ル者ハ主トシテ投機者流ニシテ眞正ナル取引業者ハ金解禁反對論者ノ惧ルヽ程甚大ナル實害ヲ受クルモノニアラス一時彼等ハ苦痛ヲ感スヘキモ久シカラスシテ市場平靜ニ歸シ爲替ノ安定ト共ニ堅實ナル取引行

ハレ在荷品ノ需要起リテ苦痛緩和セラレ茲ニ産業貿易ノ生面ヲ開クヲ得ヘシ爲替ノ急激ナル回復カ財界ニ及ホス影響ノ案外憂フルニ足ラサルハ本年三月中旬後佛國法貨ノ價値激騰シタル當時ノ事情最モ雄辯ニ之ヲ證明ス「ボアカンレー」ハ嚴密ナル調査ノ上法貨暴落ノ眞因カ財政ノ紊亂歳出入ノ大不平均ヨリ生スル信用ノ失墜ニ在ルヲ確メ財政ノ整理緊縮ト租稅ノ增徵トヲ斷行シテ以テ歳出入ノ確實ナル均衡ヲ期スヘキ大決心ヲ爲シ一律二割增稅案其ノ他ノ財政案ヲ議會ニ提出シテ其ノ同意ヲ得ルト共ニ英米兩國ニ「クレデイツト」ヲ設定シテ爲替資金ニ備フルノ方策ヲ定メタリ「ボアカンレー」ニ代

テ為替資金ニ備ヘルノ方策ヲ定メタリ「ホアンカレー」ニ代
其ノ同意ヲ得ルト共ニ英米兩國ニ「クレディット」ヲ設定シ
決心ヲ為シ一律ニ割増税案其ノ他ノ財政案ヲ議會ニ提出シテ
ノ増徴トヲ斷行シテ以テ歳出入ノ確實ナル均衡ヲ期スヘキ大
均ヨリ生スル信用ノ失墜ニ在ルヲ確メ財政ノ整理緊縮ト租税
密ナル調査ノ上法貨暴落ノ眞因カ財政ノ紊亂歳出入ノ大不平
タル當時ノ事情最モ雄辯ニ之ヲ證明ス「ホアンカレー」ハ嚴
外憂ヲルニ足ラサルハ本年三月中旬後佛國法貨ノ價値激騰シ
ヲ開クヲ得ヘシ為替ノ急激ナル回復カ財界ニ及ホス影響ノ案
ハシナ商品ノ需要起リテ苦痛激甚ナラン故ニ産業貿易ノ方面

リテ内閣ヲ組織シタル「エリオー」モ全然前内閣ノ財政々策
ヲ踏襲シ豫算ノ嚴正ナル均衡ヲ期スルコト絶對必須ナル旨ヲ
聲明シ着々之ヲ實行セリ斯ノ如クニシテ法貨ハ急激ニ回復シ
本年三月八日英貨一磅ニ對シ百二十二法・五〇ニ下落シタル
為替相場（造幣比價二十五法二二五）ハ四月二日七十三法ニ
昇騰シ即チ一ケ月ニ滿タサル内平價ニ對スル低價割合三十八
割ヨリ十九割ニ暴騰セリ之カ為ニ諸株式暴落シ蘇士運河株ハ
一萬四千六百法ヨリ九千二百法ニ「リオテイント」銅山株ハ
三千八百二十法ヨリ二千四百法ニ激落スル等株式市場ハ大混
亂ノ狀ヲ呈シ銀行亦大ニ警戒セリ然レトモ一般國民ハ案外冷

静ニシテ政府ノ決心ヲ歡迎シ眞正ナル商工界ハ格別動揺ノ模様無ク投機界以外ハ平穏ニ經過シ爾來貿易頗ル順調ニ進捗シテ本年初以來七月末マテニ二十億法餘ノ輸出超過ヲ來シ殊ニ製造品ノ輸出著シク増加セリ又物價ノ指數ニ於テモ本年四月末卸賣商品ハ二月末ニ比シ九十六「ポイント」下落シタリ其ノ後幾分反動ノ氣配アリシモ大體下落ノ趨勢ヲ辿リ就中内國産ノ食料品ニ於テ著シキ低落ヲ告ケ一般民衆ノ苦痛頗ル輕減セラレタリ今我國ノ經濟状態如何ニ不良ナルモ金解禁ノ爲メ圓ノ價値ニ割方急激ノ回復ヲ告ケタリトテ論者ノ惧ルヽカ如キ恐慌ヲ招致スルコト無カルヘキハ佛國ノ近例ニ徴シテ疑ナ

シト信ス

第二局面ノ平價ニ復スルヲ待チテ解禁ヲ實行セヨト言フニ至リテハ其ノ眞意ヲ解スルニ苦シム蓋シ解禁ハ手段ニシテ目的ニアラス之ヲ行フハ局面ヲ回復セムカ爲ナリ若シ他ノ方法ニヨリ局面カ容易ニ回復シ目的カ達成セラルヽニ於テハ何ソ復タ解禁ヲ要セムヤ當局者ハ前記ノ如ク國民ノ緊縮ト生産ノ振興トニ依リ現態ヲ救濟シ得ルコトニ屬望シ英國カ實行シタル事例ニ模倣セムト期スルカ如キモ是ハ我國情ト民心ノ機微ニ洞達セサルモノナリ由來我國ハ天惠ニ乏クシテ富源ノ拓殖、産業ノ振興ニハ特別ノ奮勵ヲ要スルニ拘ハラス近時民心ノ歸

趨ヲ觀ルニ遺憾ナカラ意思荒怠シテ緊張味ヲ缺ケリト謂ハサ
舌ニルヲ得ス火ニ遇テ狼狽スルモ煙ヲ見テハ警メス敵國外患ニ對
尚亦シテハ極度ノ發憚ヲ致スモ財界ノ土崩的侵蝕ニ因ル邦家ノ危
鎗濆難ニ冷淡ナル國民ニ對シテハ敢テ好マヌコトナカラ金貨流出ナ
却スル鐵槌ヲ加ヘ災害ノ身ニ迫レルヲ自覺セシメサルヘカラス歐
相場米ノ經濟學者往々爲替ノ急激ナル昇騰ヲ戒ムル者アルモ是ハ
ラス普通一般ノ場合ニ適用スヘキ學説ニシテ反省心ニ乏シキ我國
ルト民ニ應用スヘキニアラス我政府ノ行財政整理カ佛國ノ如ク徹
片ノ底的ニ行ハレタラムニハ國家ノ信用ト共ニ圓價モ多少回復シ
ノ如タルヘキニ政府ノ整理カ既ニ論者ノ期待ヲ裏切リタル以上速

ニ金ノ輸出禁止ヲ解除スルノ必要愈大ナルヲ加ヘタリ徒ニ口舌ニヨル訓諭又ハ紙片ノ宣傳ノ如キハ何等ノ効力無カルヘシ

尚ホ大藏省ハ大正六年九月省令ヲ以テ金ノ輸出制限及金貨ノ鑄潰等ヲ禁止シ更ニ本年十一月ヲ以テ正金銀行カ金地金ヲ賣却スルニ當リ從來造幣價格ヲ標準トシタルヲ改メテ以後爲換相場ニ據リ賣却スルコトヲ發表シタルカ此ノ兩者ハ法律ニ據ラスシテ事實上兌換制度ヲ停止シ兌換券ヲ不換紙幣ト爲シタルト同一ノ効力アル行政行爲ニシテ而モ勅令ニモアラサル一片ノ省令又ハ通知ヲ以テ法律ヲ變更シタル重大事件ナルカ斯ノ如キハ憲政各國ニ實例ナキハ勿論我憲法ノ條項ニ照シテモ

其ノ不法ナルハ言ヲ待タス而ルニ國民恬トシテ之ヲ怪マサルモノ亦以テ我國民ニ痛撃ヲ加ヘテ之ヲ覚醒スルノ理由タラストセス

以上說キ來レハ今日ハ最早最終ノ手段タル金輸出ノ解禁ヲ取ルノ外良策ナシ現實ニ苦痛ヲ體驗スルニ因テ生スル國民ノ自覺的節制及努力ト通貨收縮ニ伴フ物價ノ低落ト相待テ始メテ産業ノ伸暢、爲替ノ好轉ヲ望ムヲ得ヘシ要ハ當局者ノ英斷如何ヲ顧ルノミ

鐵道問題對案

鐵道新設工事ノ中止ハ財政整理上喫緊ノ事ニ屬スルヲ以テ既定計畫ハ斷然之ヲ打切リ運轉ノ低廉運送能率ノ增進ニ全力ヲ盡スヘキコト

（理由）本項モ亦本會カ曩ニ決議シタル政府事業整理方案中ノ一項ニシテ其ノ理由ハ載セテ第二回報告中ニ在ルヲ以テ茲ニ記述スルノ要ナシ唯再ヒ此ノ決議ヲ爲シタル所以ノモノハ鐵道豫算問題カ紛糾ヲ極メタルノミナラス協調ノ結果トシテ傳ヘラル、成案カ財政整理ノ精神ニ違フヲ見テ頗ル技癢ニ堪ヘス重ネテ世論ニ訴ヘムト欲ス

抑モ財政ヲ根本的ニ建直シ我財界ノ救治ト民力ノ休養ヲ謀ルハ現内閣カ公表シタル政綱ノ一ニアラスヤ此ノ目的ヲ達成スル爲ニハ非常ノ決心ト努力ヲ要スルト同時ニ萬般ノ施設ニ方リテハ事態ノ輕重緩急ヲ衡量シ國家全體ノ利害ヲ顧ミサルヘカラス從テ一切ノ情實ヲ排斥シ從來ノ行掛リニ拘泥セサルハ勿論之カ爲メニ多大ノ犧牲ヲ拂ヒ一時ノ不便ヲ忍フコト亦已ヲ得サルナリ今次問題トナレル鐵道施設ノ如キハ最モ痛切ニ之カ適用ヲ受クヘキモノニシテ歷代內閣ノ誤レル鐵道政策ハ此ノ際斷然拋棄スヘキモノナルコト多言ヲ待タス新鐵相ノ最初ノ提案トシテ傳ヘラル丶モノヲ觀ルニ改良ト建設トノ比率ニ對シ大ナル變革ヲ加

ヘタルハ之ヲ多トスト雖モ實際ヲ言ヘハ猶ホ囚ハル、所アルニ歎焉タラサルヲ得ス況ムヤ舊來ノ政策ヲ復活セムト努ムルニ於テヲヤ固ヨリ各地方ノ事情ト各箇人ノ立場ヲ異ニスルカ爲ニ之カ主張ヲナスモノナルヘシト雖モ飜テ我財政ノ實情ニ鑑ミ眼ヲ大局ニ注クニ於テハ這般ノ問題ハ瞬時ニ解決スヘシ多クノ貴重ナル時間ヲ費シ波瀾曲折ヲ重ネテ而モ其ノ歸著スル所彼ノ如キハ實ニ遺憾ニ堪ヘス勿論鐵道ノ發達ハ産業ノ振興ニ至大ノ關係ヲ有スルカ故ニ寸時モ閑却スヘキニアラスト雖モ現下ノ財政狀態トシテハ投下シ得ヘキ資金豐富ナラサルヲ以テ出來得ル限リ之ヲ活用シ其ノ施設

ヨリ生スル收利ノ多大ヲ期セサルヘカラス故ニ運融上ノ故障續出シ滯貨推積セル今日ニ在リテハ運賃ヲ低下シ且輸送能率ノ増進ニ全力ヲ盡スヲ以テ急務トスヘシ是レ反テ鐵道ノ收益ヲ増加スルト同時ニ産業ノ發展ヲ助長スヘキ兩全ノ策タルノミナラス收益ノ餘裕ハ他日建設工事費ニ充用シ得ルノ利アリ所謂鐵道既定計畫ナルモノヽ杜撰ナルコトハ曩ニ之ヲ指摘シタリト雖モ其ノ中實際建設ノ必要アルモノ亦之レ無シトセス若シ鐵道ノ營業成績好化ニ頼リ建設工事ノ進捗ヲ期待スルヲ得ハ縱令ヒ著手ノ日ヲ遲延スルモ竣成ノ期ハ却テ速ナルヘシ鐵道當局者カ改良ニ重キヲ置ク趣旨ノ中ニハ此ノ意ヲ加味セルコトヲ闡明セリ之ニ

關シテハ賛同ニ俾カラサルト同時ニ本會ハ更ニ一歩ヲ進メ新設
工事ハ當分之ヲ中止シ以テ財政整理ノ精神ヲ貫徹セムコトヲ翼
望シテ止マサルナリ

謹啓 本七日(金曜日)午後五時

御參會被下度此段得貴意候 匆々

大正十四年八月五日

營セラレタルニ對シテハ敬意ヲ表スルモノナリ然レトモ忌憚ナク言ヘハ本會ハ未ダ
當局ノ成案ニ満足セス緊縮ノ精神ヲ徹底セシムルニハ猶斧鉞ヲ加フルノ
餘地多大ナルヲ認ム來年度以降ノ豫算ニ於テ更ニ政費ヲ切斷シテ
賦課ノ軽減ヲ策シ以テ産業ノ振興ニ資セムコトヲ希望シテ止マス而モ世間

謹啓 来七日（金曜日）午後五時ヨリ京橋区南鍋町事務所ニ於テ委員會相開キ（本年七月二十三日總會ニ於テ決議ノ上起稿方委員附託ト相成候）左記議案ニツキ御協議申上度候間御繰合御参會被下度此段得貴意候 匆々

大正十四年八月五日

経済攻究會委員 志立鐵次郎

星野錫 様

左記

財政整理續行ニ関スル決議

本會ハ財政ノ整理緊縮ヲ續行シ之カ徹底ヲ期スルノ精神ヲ以テ来ルヘキ年度ノ財政計畫ヲ樹立スルノ必要アルヲ認メ左ノ決議ヲ為ス

一、緊縮政策ハ唯ニ之ヲ續行スルノミナラズ更ニ一層ノ努力ヲ以テ之カ貫徹ヲ期スルコト

二、来年度豫算ノ編成ニ當リテハ本年度ニ比シ更ニ削減ヲ加フヘキコト

三、国費ノ節約ニ因テ生スル財政ノ餘裕ハ之ヲ賦課ノ輕減ト国債ノ償還トニ充當スヘキコト

（理由）本會ハ曩ニ我財界救治方策ノ一トシテ一般行政ノ整理緊縮ヲ行ヒ国費ヲ節約スヘキコトヲ決議シタルカ幸ニ財政當局者モ茲ニ留意シ大正十四年度豫算ノ編成ニ當リ此ノ方針ノ下ニ工夫經營セラレタルニ對シテハ敬意ヲ表スルモノナリ然レトモ忌憚ナク言ヘハ本會ハ未ダ當局ノ成案ニ満足セス緊縮ノ精神ヲ徹底セシムルニハ猶斧鉞ヲ加フルノ餘地多大ナルヲ認メ来年度以降ノ豫算ニ於テ更ニ政費ヲ切断シテ賦課ノ輕減ヲ策シ以テ産業ノ振興ニ資センコトヲ希望シテ止マス而モ世間

ノ一部ニハ早クモ緊縮政策ニ對シテ批難ノ聲ヲ喚シ積極政策ノ再現ヲ渇
望スル者アリテ或ハ政府部内ニモ之ニ傾クノ虞ナキヲ保セス是レ最モ戒メヲ
要スル時機ナリトス
惟フニ緊縮政策ヲ以テ商工業不振ノ源因ト為スノ俗論ハ經濟ノ理ニ適セ
サル者ノ陷リ易キ迷誤ニシテ物資勞務ノ最大購買者タル中央政府
及地方行政機関カ其ノ經費ヲ節減セハ從来是等ニ供給セラレタル多量ノ物
資并ニ是等ニ依テ衣食シタル多數ノ勞務ハ忽チ其ノ途ヲ塞カレ就中軍
人、文官、警吏等多數ノ失職者ハ産業界ノ勞働者ト爭フテ餬口ノ途
ヲ計リ従テ一般ノ勞働賃金ヲ低下シ勞働者ノ生活程度ヲ降下スルニ至ルヘ
シトハ此種俗論者ノ信スル所ナランモ是レ大ナル錯誤ナリ抑モ政費ノ大部
分ハ將来ニ收入ヲ生シ又ハ資本ヲ增殖スル能ハサル所謂非經濟的經費
ニ屬シ而シテ其ノ資源タル租税ハ種類ノ何タルヲ問ハス悉ク國民ノ資本若
クハ所得ヨリ搾取セラレサルハナク租税トシテ給付セラルヽ資本所得ノ大部分
ハソレ丈国ノ生産資本又ハ国民ノ蓄積ヲ減縮シテ産業經濟ノ基本ヲ消
耗ス故ニ今財政ヲ緊縮シテ国民ノ負擔ヲ輕減セハ国民ハ之ニ由テ得タル所
ヲ浪費セサル限リ或ハ蓄積シ或ハ生産資金ニ運用シテ經濟的ニ之ヲ利用
スヘキカ故ニ産業振興国家繁榮ノ基ヲ成スヲ得ヘク租税トシテ之ヲ政費
ノ資源ニ供スル場合ニ比シテ二重ノ効用ヲ商工業ニ及ホスノ理ナリ　租税輕減
ノ産業界ニ於ケル好影響ハ案外急速ニシテ政費節減ノ為官職ヲ失ヒタ
ル者等ハ間モナク新ナル事業ニ吸收セラルヘク彼等一時ノ苦痛ハ決シテ憂
フルニ足ラス其ノ最モ著シキ事例ハ北米合衆國ノ近情善ク之ヲ證明ス同
國ハ平和克復ト共ニ一方ニハ軍隊ヲ解放シ他方ニハ行政整理ヲ實行シ殊ニ
一九二一年ヨリ緊縮政策ニ着手セル結果同年五、六月ノ交全國六百萬以上
ノ失職者ヲ出セルモ後段更ニ陳フルカ如ク毫モ顧慮スル所ナク再来鋭意
緊縮方針ヲ勵行シタル為産業頓ニ振興シ失職者月ト共ニ減少シ一九二三
年末ニハ殆ト其ノ全部ヲ斯業ニ吸取シ昨一九二四年ニハ景氣益良好ニシテ

労働ノ需用従テ旺盛ニ赴クノ實情ナルニ而モ政府ハ益緊縮方針ノ歩ヲ
進メテ止メサルカ故ニ産業之ニ伴フテ益隆盛ナラントス
抑モ財界ノ困憊今日ノ如ク深刻ナルハ戰後ノ反動ニ加フルニ有史以来ノ大震害
ニ遭遇シタルカ為ナリト雖モ戰亂直後ノ財政當局者其ノ方針ヲ誤リ積
極政策ヲ提ケテ人心ノ浮華財界ノ狂熱ニ油ヲ注キタルコト與テ大ニ罪アリ
故ニ之カ救治ノ方法ハ先ツ其ノ病源ヲ除去シ暫時財界ノ休養ヲ計ルニ如ク
ハナシ唯創痍ノ激甚ナルト整理ノ断行カ午後レノ憾アルトニ因リ不景気ノ
情勢ハ猶ホ継續セラルヘシト雖モ是ハ恰モ大患後ノ衰弱ノ如ク避クヘカラサ
ル逕路ニシテ是ヲ以テ緊縮方針ノ産物ナリト目スルノ理由ヲ見ス寧ロ當
時ニ於ケル積極政策ノ餘殃ト称スヘシ思フニ積極政策トハ具體的ニ如何ナル
モノヲ意味スルカ普遍的ニ産業ヲ促進スヘキ純真ナル施設ナリト假定スルモ
是ハ絶對安静ヲ要スル時ニ於テ活躍ヲ試ミシトナルモノニシテ尚ホ未タ其ノ時期
ニアラス萬一積極政策ノ名ノ下ニ或ハ不急ノ土地ニ鐵道ヲ建設シ或ハ特種ノ事
業ヲ保護スル等国民全般ノ負擔ニ因テ一局部ヲ潤ホサントスルカ如キハ是レ前
車ノ覆轍ヲ踏襲シテ病勢ヲ逆轉シテ救済ノ根抵ヲ破壊スルモノナリ恐
レサルヘケンヤ
政府ノ緊縮案カ未タ本會ノ期待ニ副ハサルコトハ既ニ説クカ如シ最近ニ於ケ
ル財政ノ實績ハ此ノ断定ノ誤ラサルコトヲ證明シタリ即チ彼ノ程度ノ緊縮ニ
テハ新ニ増税シ若クハ国債ヲ増發スルノ必要無キニ止リ未タ減税ヲ試ミ又ハ
国債償却ノ餘裕ヲ得ル程ノ結果ニ到達スル能ハス之ニ因テ観レハ緊縮政
策ハ唯ニ之ヲ續行スルノ必要アルノミナラス更ニ一層ノ強味ヲ加ヘ一層ノ發揮ヲ
以テ之ニ當ルニアラサレハ當初ノ意志ヲ貫徹スル能ハス從テ来年度ノ豫算
編成ニ當リテハ今年度ニ比シ更ニ大ナル節約ノ實ヲ挙ケサルヘカラス事固ヨリ
容易ナラスト雖モ軍備ニ於テハ勿論一般行政ニ亘リテモ猶ホ冗員冗費ノ省
減スヘキモノ繁文縟禮ノ整理スヘキモノ多々アルハ疑ヲ容レス北米合衆国
カ最近四年間ニ断行セル政費節約ノ實例ハ最モ参考ニ値スルヲ以テ其ノ梗

概ヲ陳ヘンニ米国ハ一九二二年度ヨリ始メテ豫算及會計法ヲ實行シ中央財政上ニ一大改革ヲ施スト共ニ行政財政ノ整理緊縮ヲ目的トシタル政府事務統一委員會（ビジネス、オーガニゼーション、オフ、ガヴァメント）ナルモノヲ組織シ豫算局長（ドース氏當初之ニ任シ後ロード氏之ヲ襲ク）ヲ委員長トシ行政各部長ヲ委員トシ大統領ノ熱誠ナル指導ノ下ニ政費ノ徹底的削減ヲ図リ一九二一年六月第一回委員會ヲ開キ爾来毎年二回之ヲ継續シテ本年六月第九回ニ至リ其ノ間ノ努力實績歎稱ニ堪ヘサルモノアリ今其ノ成績ノ一班ヲ観ルニ該委員會設立前年度即チ一九二一年度ノ歳出決算額（国債償却費及郵便事務費ヲ除ク）五十一億千六百万弗ナリシカ爾後年々其ノ額ヲ減少シテ国民負擔ノ軽減ヲ図リ本年度即チ一九二四年七月ヨリ一九二五年六月ニ至ル年度ノ歳出推定額（国債償却費及郵便~~事務~~費ヲ除ク）ハ三十億三千五百万弗ニシテ既往四年間ニ於ケル歳出削減額實ニ二十億八千一百万弗ニ達シ昨年度ニ對シテ約二億弗ノ歳出減少ヲ示シ従テ歳入ニ於テモ内地税并ニ関税收入約一億三千万弗ノ減額ヲ呈シ居レリ而モ必要ナル事業ノ遂行ヲ怠ラスシテ道路費ノ如キ昨年度ニ比シ約二千万弗ノ増額ヲ投セリ国債ハ一九二一年度末ノ二百三十九億七千七百万弗ヨリ本年六月ノ二百〇五億五千一百万弗ニ減シ其ノ間三十四億二千六百万弗ノ償却ヲ了シ従テ国債利子支拂額一九二一年度ノ十億弗ヨリ本年度ハ八億七千万弗ニ減少シテ一億三千万弗ノ軽減ヲ告ケタリ政府事務統一委員會設立前ニハ国債時價額面以下ナリシニ財政緊縮ノ結果今ハ額面以上ニ昇リ短期公債ノ發行條件モ漸次好轉シ本年六月發行ノ三歩利付一年期限ノ国庫証券ハ殆ト四倍ノ申込ニ達セル程ニシテ前記ノ最近四年間ニ於ケル国債利子減少額一億三千万弗ノ内三千万弗ハ国債ノ信用昇騰シテ其ノ利率降下セル結果ナリト云フ大統領ノ聲言スル所ニ據レハ本年度ノ歳出入決算ハ約二億弗ノ国庫剰餘金ヲ生スヘク来年度ニ至リテ更ニ二億九千万弗ノ剰餘ヲ生スヘキヲ以テ此ノ餘裕ヲ租税ノ軽減ト国債ノ償還トニ充當スル決心ノ下ニ本年六月既ニ短期

公債ハ二億八千万弗ヲ償却シ本年秋ノ議会ニハ約三億弗ノ減税案ヲ提出スル決心ヲ有セリト云フ而モ大統領ハ建設的（コンストラクチーブエコノミー）節約ノ必要ヲ力説シテ行政各部ノ発憤ヲ要請シ国民ノ負擔ヲ軽減シテ産業ノ発展ニ資セサレハ止マサルノ慨アリ（末段大統領ノ事務総（委員会ニ於ケル演説ノ抜抄参照）

米国ノ実例ハ直ニ我国ニ移ス可カラサルノ事情アリト雖モ断乎トシテ目的ノ貫徹ニ努メ半途ニシテ遅疑スルカ如キコトナキ熱情ト奮闘トハ取テ以テ模範トスルニ足ル上同時ニ緊縮政策ノ励行ハ結局国運挽回ノ素地ヲ作ルノ効果顕著ナルコトヲ證示スヘシ翻テ我財界ヲ観ルニ其ノ疲弊ハ稍緩和ノ跡ナキニアラサルモ未タ好転ヲ宣言スルヲ得ス物価労銀及金利ハ未タ著シキ低下ヲ致サス円価ノ回復未タ捗々シカラス貿易ノ前途未タ楽観ヲ許サス事業界ノ整理未タ完了セズ米国ノ実情ニ対比シテ慚愧ニ堪ヘス又素望ニ堪ヘサルナリ

今後幸ニ緊縮ノ強行整理ノ遂成ニ因リ国費ハ大ニ節約セラレ財政ニ余裕ヲ見ルニ得ルニ至ラハ必ス是ヲ以テ租税ノ軽減ヲ企画スヘシ又予算現計ニ於テ剰余金ヲ見ルコトアラハ之ヲ繰越シテ他ニ流用スルコトヲ止メ直ニ国債ノ償却ニ充当スヘシ聞ク所ニ拠レハ大正十三年度ニ於テハ少クモ二億二三千万円国庫剰余金ヲ生スヘシト云フ果シテ然ラハ之ヲ以テ国債ヲ償却スヘク従来ノ如ク後年度ノ財源ニ保有ス可ラス本会ハ豫テ税制ノ整理ハ減税ヲ為ス上ノ意義ニ於テ之ヲ決行スヘキコトヲ決議シ又会計組織ヲ改革シテ国庫剰余金ヲ以テ必ス国債ヲ償却スヘキコトヲ決議シタルカ財界ノ救治ハ国民ノ負擔ヲ軽減シ民力ノ休養ヲ謀ルニアラサレハ終ニ望ム可カラス官民勤倹ノ結果資金潤沢トナリテ金利低下シ物価労銀亦共ニ低落シテ自然生産ヲ刺戟スルニ至リ茲ニ始メテ財界ノ回復ヲ断定スルヲ得可ク商工振興ノ光明ヲ認ムルヲ得ヘシ斯ノ順境ニ到達セハ国民ハ鼓セストモ踊躍スヘク鞭タストモ前進スヘシ所謂積極的施設ハ民力進シテ之ヲ實行スルノ時機ヲ待ツテ順序トスヘシ

今ヤ政界端ナクモ波瀾ヲ起シ協調破裂ノ結果内閣ノ改造ヲ見ルニ至リシカ財政上ニ於テハ固ヨリ従来ノ方針ヲ続行シ着々トシテ成功ヲ収ムルニアラサレハ止マサルヘシ蓋シ緊縮政策ノ抛棄ハ国民全體ノ聲ニアラス唯一部ノ健忘ニシテ耐忍力ニ乏シキモノ又ハ投機ヲ事トシ眼前ノ小利ヲ射ントスルモノヽ私言ナリ然ラサレハ此等少數者ノ愁訴ヲ誇張シテ或目的ノ為ニ利用スルニ過キスシテ賢明ナル我財政當局者ノ耳ヲ傾ケサルヘキコトハ本會ノ堅ク信スル所ナリト雖モ近ク来年度ノ豫算ヲ編成シ其ノ他財政上ノ革新ヲ計畫シ来ルヘキ議會ニ臨ムノ準備ヲ為サントスルニ際シ意見ヲ異ニスル政治家ノ策動ハ必ス峻烈ヲ極メ浮説妄語續生スヘキヲ以テ多少ナリトモ之ニ牽制セラレ所信ノ斷行ニ弛緩ヲ生スルコトアラムヲ恐レ婆心禁スル能ハス茲ニ前議ヲ繰返シ當局ノ一顧ヲ請ヒ併セテ世論ニ訴ヘントト欲ス

参照 米國政府事務(委員會)ニ於ケル大統領ノ演説概要ハ抄訳ヲ末段ニ挿入ノ筈ニシテ其ノ抄訳ハ追テ配稿ノコト

経済攷究會報告

七月二十三日總會ニ於テ當日ノ議題ニツキ左ノ通リ決議相成候間及報告候

大正十四年八月八日　経済攷究會委員志立鐵次郎

左記

一、緊縮政策續行ニ関スル決議

本會本来ノ性質上建議書ヲ當局ニ提出スル等ハ穏當ナラザルヲ以テ従来ノ主張ヲ更ニ強クシ一般ニ發表シ當局ノ反省ヲ促スト共ニ輿論ノ喚起ヲ謀ルコトトシ其ノ起稿ヲ委員ニ委任ス

二、本會委員改選ノ件

本會委員ハ三年毎ニ改選スルコトヽシ志立委員ハ留任トシ他ノ六委員中半數ヲ此ノ際改選スルコト、且其留任者、退任者並ニ

後任者ノ選定ハ之ヲ志立委員ニ一任ス

以上

右第二項ノ決議ニ基キ六委員ノ留任者退任者ヲ選定スルニ方リ従来委員會ニ出席少ナキ方ハ比較的多忙ニテ留任上特ニ迷惑ヲ感セラルヘキ推定ノ下ニ出席ノ度數ヲ標準トシテ留任退任ヲ決スルコトニ定メ西尾豊、田中鐵三郎、植村俊平三君ヲ留任者トシ池田成彬、渡邉鐵藏、成瀬義春三君ヲ退任者トシ新任者ニハ石橋湛山、田中次郎、志村源太郎三君ヲ選定シ夫々通知ヲ了シ七月三十一日ヲ以テ委員更任致候間右御諒知被下度候、

大正十四年七月二十四日銀行倶樂部ニ招待セル漢堡獨亞協會専務理事モーア氏（Dr. jur. F. W. Mohr）當日ノ講話概要

獨逸ハ戰爭ニ因ツテ多大ノ人力、資力ヲ失ツタ上平和條約ニ因ツテ更ニ著シキ損失ヲ地積、人口、富源ニ被リ国力困憊シテ必要ナル経費ヲ支フヘキ收入ナク歳出入ノ不均衡ハ「マルク」紙幣ノ増發ヲ餘儀ナクシ、其ノ價値發行額ノ増加ニ從ツテ低落スルノ一方ナルニ加ヘテ「ルール」地方ヲ占領セル佛国軍ガ「マルク」相場ノ低下ヲ図ルコトニ努メタル結果益其ノ趨勢ヲ速ナラシメタ、紙幣價値低落ハ輸出ヲ増加シ、商業工業ノ隆盛ヲ促スカ爲メ利益ナリトノ意見ガ一時行ハレシモ、此ノ意見ノ謬ツテ居ルコトハ「マルク」ノ低落スルニ連レテ現實ニ證明セラレタ、通貨ノ膨脹、其ノ價値ノ低下ハ国民一般ノ貯蓄心ヲ消耗シ、産業ノ流動資本ヲ消失シ、中産階級ヲ貧乏ノ谷底ニ突落シテシマツタ、人々ハ一片ノパンヲ得ンカ爲メ終日ヲ費ス程ノ有様トナリ、收入ト物價トノ關係全ク亂レ、朝ニ懐ニ入ル紙幣ハ其ノ價値晝ニ半減シ、夕ニハ更ニ半減スルト云フ如キ有様トナリテ、貯蔵セントスル欲望ハ時々刻々減ス